

No.	520-020	事務事業名	イノシシ等鳥獣害防止電気柵事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	市単独事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
イノシシ等により農作物への被害が発生する恐れがある農地に電気柵を設置することにより、農作物への被害を防止または軽減する。 【事業対象】 ・30a以上連坦している農地について、2世帯以上の共同で電気柵等を設置する場合に、事業費の1/3を助成。 ・鹿児島県農業・農村活性化推進施設等整備事業(鳥獣害防止施設整備)の対象となるものを除く。 ・農作物への被害発生のおそれがあること。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 電機柵の設置補助 受益者4戸、事業量16,050㎡、補助金額78千円		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 電機柵の設置 10件を想定		ア 受益戸数 戸	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農家及び市民 (交付先)2戸以上で構成される申請者 (対象活動)電気柵等の設置		イ 電気柵設置受益面積 ㎡	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) イノシシ等による農作物への被害を防止する。		ウ 助成金額 千円	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア 申請者 人	
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア 農作物被害金額 千円	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア 認定農業者数 戸	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	365	92	78	148	
事業費計(A)		千円	365	92	78	148		
活動指標		ア 戸	8	7	4	10		
		イ ㎡	14,164	18,164	16,050	35,000		
		ウ 千円	49	92	78	165		
対象指標		ア 人	1	3	4	4		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 千円	21,110	22,015	11,270	22,000		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
県では、農業・農村活性化施設等事業(旧鳥獣害防止施設整備事業)により被害防止策が講じられているが、採択要件(面積、受益戸数)が厳しく、山間地及び中山間地域の多くが事業対象とならないので、平成14年度から開始し本市においても実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
全国的に米価の低迷が深刻化しており、生産条件が不利な山間地及び中山間地域においては、鳥獣による農作物被害が大きな痛手となっていることから、被害を受けやすい山手の農地の荒廃が進行している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
連坦での農地で申請を行わなければならない、申請要件を満たすことが難しいため、個人での申請も可能にしてほしい。	

事務事業名	イノシシ等鳥獣害防止電気柵事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ イノシシ等の鳥獣による農作物への被害防止を行うことで経営体の強化を図れるので、政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農業者支援や農業者所得の確保は、農林水産業の振興であって、行政一部に担うことについては妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 県単独事業(鳥獣被害防止事業)の要件を満たさないものを市単独事業で補完しているため、対象・意図の変更は必要ない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 補助事業の目的以上に成果向上の余地はない。成果向上を行うとすれば、対象地域を拡大し、県の補助事業等を導入し広域で事業を行うことを勧める。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 小規模の対策ではあるが、有害鳥獣の被害防止を怠ることは農業者所得の減少に結びつく。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 中山間直接支払い交付金制度 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 中山間等直接支払制度を導入している地域については、交付金の一部を集落の共同活動経費に充てるため、共同での鳥獣被害防止施設の設置が可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 集落または、一団の農地での共同防除を推進し、国・県事業の導入を促進する。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 鳥獣被害の発生地が対象となっているため、平野部に比べて山間地や中山間地の事業導入頻度は高いが、採択要件及び受益者負担の公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 目的・公平性は適切な事業である。鳥獣被害に関しては、その生息地が市町村をまたぎ広範囲であるため、点的な自己防衛策では改善は望めない状況にある。国・県における鳥獣被害防止対策の新たな構築を要望し、広域的な打開策を検討する必要がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善案 国県補助事業の導入を検討させるなど、採択要件に合う地域の取りまとめ等を積極的に進行。																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 国県補助の導入は採択要件が多く、現実として事業採択になりにくい。 安易に補助事業を決定するのみでなく、周辺地域の農業従事者と共同し整備計画を策定させることで上位補助の対象にすることが可能となる。																									

No.	520-030	事務事業名	市地方卸売市場施設維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林漁業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 7	87010	地方卸売市場管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
生鮮食品等の取引の適正化並びに生産及び流通の円滑化を図り、もって住民等の生活の安定に資するため、霧島市公設地方卸売市場の施設管理を行っている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 59 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		施設	
施設管理事務		施設	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
施設管理事務		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市場を利用する買受人及び生産者		名称	
		単位	
		戸	
		戸	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
適正な取引の場を提供し、安心安全な青果物を買受人を通じて地域住民に供給し、生産者の経営の安定と食の安定供給を図る。		名称	
		単位	
		%	
		%	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		戸	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	15,815	22,087	23,981	17,730		
		一般財源	千円	-1,164	-2,328	-1,968	-2,145		
	事業費計(A)	千円	14,651	19,759	22,013	15,585			
活動指標		施設	1	1	1	1			
対象指標		戸	148	144	146	148			
		戸	360	349	350	355			
成果指標		%	107	92	104	100			
上位成果指標		戸	300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
青果等の適正な取引の場を地域に提供するため、昭和59年に「始良東部地方卸売市場」を設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併以前は、構成市町の負担金により「一部事務組合」を設置し管理に当たっていたが、合併に伴い市の一般財源により施設管理を行っている。また、年々取扱量及び取扱高ともに減少傾向にあり、買受人や出荷生産者の数も減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
卸売業者からは、近年の流通機構の変化に伴う市場外流通の増大により経営状況は年々厳しくなっており、市場の高い公共性などを勘案し、使用料の更なる減免を検討してほしいとの要望が寄せられている。	

事務事業名	市地方卸売市場施設維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	見直し余地がある【理由】 ↷	結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	見直し余地がある【理由】 ↷	妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	見直し余地がある【理由】 ↷	適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	向上余地がある【理由】 ↷	向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	影響無【理由】 ↷	影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 加治木市場(近隣施設) 統廃合できる ↷ 連携できる ↷ 統廃合できない ↷ 連携できない ↷ 加治木町に類似する施設があるが、民間が運営する施設であることに加え、市内の農家にとって運搬コストが上昇する。 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	見直し余地がある【理由】 ↷	公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																				
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	適切	見直し余地あり	有効性	適切	見直し余地あり	効率性	適切	見直し余地あり	公平性	適切	見直し余地あり	<p>効率は、市場管理業務を指定管理者制度に移行することによって、おおむね改善される。</p>																								
目的妥当性	適切	見直し余地あり																																			
有効性	適切	見直し余地あり																																			
効率性	適切	見直し余地あり																																			
公平性	適切	見直し余地あり																																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																																				
<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業のやり方改善(有効性改善)</td> <td>現状維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業のやり方改善(効率性改善)</td> <td>(従来通りで特に改革改善をしない)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統廃合・連携</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業のやり方改善(公平性改善)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><改革改善案> 適切な指定管理者制度への移行を検討する時期である。委託方法の検討を早期に開始する。</p>	廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>	目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)		事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>																																	
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																																		
事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																																			
		コスト																																			
		削減	維持	増加																																	
成果	向上																																				
	維持																																				
	低下																																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 指定管理者制度への移行については十分な研究が必要である。 卸売業者の存続を含め十分な配慮を行うことまで解決するだけの研究を行う。																																					

No.	520-050	事務事業名		米等振興組織育成事業			所属部	農林水産部
		政策名		03 活力ある産業のまちづくり			所属課	農政畜産課
		施策名		01 農・林・水産業の振興			課長名	富永 克義
		基本事業名		01 農林業経営体への支援			所属G(係)	農政G
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
		一般	06	01	03	82045	農業振興助成事業(市単独)	
		米等振興組織に補助金を交付し、生産拡大・品質向上等を目的として米等振興組織が行う現地検討会・栽培講習会等の活動を支援する。						事業期間

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								事業期間	
米等振興組織に補助金を交付し、生産拡大・品質向上等を目的として米等振興組織が行う現地検討会・栽培講習会等の活動を支援する。 [市の活動] 米等振興組織に補助金を支出するための手続き(申請書受付、交付決定、実績報告受付、交付確定、補助金交付)等を行う。 [米等振興組織の活動] 生産拡大・品質向上等を目的とした、現地検討会・栽培講習会等の活動の実施。 [米等振興組織団体数] 5団体: 国分良質米生産振興会・横川地区水稲部会・牧園地区水稲部会・霧島地区稲作研究会・隼人地区米麦部会								<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (不明) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同じ		ア 補助金交付団体	
		団体	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
米等振興組織		名称	
		単位	
		ア 米等振興組織会員数	
		人	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
栽培技術の集約・向上並びに組織力の強化を行ない、農家の経営安定を図る。		名称	
		単位	
		ア 検討会・講習会等実施回数	
		回	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		戸	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	182	147	109	135		
事業費計(A)		千円	182	147	109	135			
活動指標		ア 団体	5	5	5	5			
		イ							
		ウ							
対象指標		ア 人	106	101	98	96			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 回	15	15	15	15			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	313	323	321	325			
		##							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
米については、主食であるだけでなく、古来より日本の文化の根幹にあるもので、いうまでもなく日本の農業の支柱である。本市においても基幹作物として生産振興を図るため、組織力の強化を目的として事業開始された。開始年代不明。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農家の高齢化や後継者不足により、労働力不足は深刻化しており、食糧需給率の低下に加え農地の荒廃化も進行している。よって、担い手となる農家への農業の集約が喫緊の課題となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
当該事業により、先進地研修や各種検討会等、協議会活動が、活発に行なわれてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。	

事務事業名	米等振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 本市の基幹作物である水稻の農業者組織の組織力を強化することで、農業者の所得向上に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 振興組織の育成は、農家所得の向上に繋がるため必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 組織の振興事業であり、対象・意図ともに適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 新たな水田農業(多様用途米の生産等)の検討を行なうなど、組織の目的を再設定させるなどすることによって、事業の成果向上の可能性がある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 組織が弱体化し会員減少や水田農業の減退が懸念される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) これまでの見直しによって小額となっており、これ以上の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 組織統合ができないため、人件費の削減はできない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 組織に対する補助であり公平性は保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新たな水田農業(多様用途米の生産等)の検討を行なうなど、組織の目的達成に向けた新たな対策を試みる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 国の水田農業政策の方向性としても、新規需要米・加工用米の生産を強く推進している。当該組織においても、酒造用米・米酢用米等、地域の潜在的な需要を掘り起こし、新たな販路の拡大に努める。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
組織としての情報収集力の高さを活かし、各方面との情報交換や研修から技術や需要の情報を収集する。

No.	520-060	事務事業名	野菜価格安定事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興助成事業(市単独)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
県が産地指定したもの、または市が重点品目とした作物について、天候等の影響で市場価格が保証基準を下回った場合に、保証基準と市場平均販売額の差を補い産地形成のため補助金を交付する。 【交付先】JA, (財)鹿児島県野菜価格安定資金協会 【事業の流れ】各交付団体を通じて、生産農家へ補助金を交付する。 【対象野菜】きゅうり、にがうり(県単野菜価格安定対策事業)・ねぎ、ごぼう、かぼちゃ(JA指定野菜価格安定対策事業) 平成18年度 1,371,000円 平成19年度 1,319,000円 平成20年度 101,000円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 54 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事業概要と同様	ア 補助対象生産農家数	戸
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 補助金額	円
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	対象野菜の生産農家	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	対象農家の産地形成を行い、市場への安定供給をさせる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	経営体質が強化される。	名称	単位
		ア 対象野菜生産農家数	戸
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 対象野菜生産量	t
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,371	1,319	101	4,157		
事業費計(A)	千円	1,371	1,319	101	4,157				
活動指標	ア 戸	79	70	70	70				
	イ 円	1,371	1,319	101	4,000				
	ウ								
対象指標	ア 戸	79	70	70	70				
	イ								
	ウ								
成果指標	ア t	886	892	892	892				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 戸	300	313	323	321				
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 天候等の影響による価格変動から農家を守り、野菜の安定供給を図る必要があることから昭和54年頃に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平均価格の下落等により保証金額も減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 保障基準の引き上げを希望する意見あり。	

事務事業名	野菜価格安定事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	農家が安心して農業に専念できる環境を構築することは、経営体質の強化に結びついている。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	野菜価格の安定は野菜農家の体質強化を図るために重要な課題であり、それらを達成するためにも市の関与は必要である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	振興作目を生産する野菜農家の全てが対象であることから対象は適切である。野菜については価格が安定しにくいことなどから、野菜農家の生産量の増を意図しているため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	現行の補助事業については、成果以上の向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	天候等の不可抗力に左右され、農家が安心して農産物を栽培することができなくなり、離農などに繋がる恐れがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	県等が定める規定により事業費が決定される。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市内全域の対象野菜を生産する農家を対象としており、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農業経営の安定化のためには適切な事業である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	520-070	事務事業名	園芸振興組織育成事業	所属部	農林水産部
				所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
園芸振興団体に補助金を交付し、生産拡大・品質向上・産地銘柄の確立などを目的として園芸等振興団体が行う研修会等の活動を支援している。 (市の活動) 園芸振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (園芸等振興会の活動) 生産拡大・品質向上・産地銘柄の確立などを目的とした研修会の開催 【園芸振興団体数】9団体：国分園芸振興会・溝辺地区野菜振興会・横川町園芸振興会・横川町石川里芋振興会・牧園町園芸振興会・霧島町園芸振興会・福山町園芸振興会・隼人園芸振興会・霧島市花卉振興会		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (不明 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同じ	ア 補助交付団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	園芸振興組織会員 <補助金交付先>各園芸等振興団体 <補助対象活動>総会・研修会の開催など	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	研修会を通じて、栽培技術の向上を行う。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	経営体質が強化される。	名称	単位
		ア 園芸振興組織会員	人
		イ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 研修回数	回
		イ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,015	775	787	735		
		事業費計(A)	千円	1,015	775	787	735		
活動指標	ア 団体		13	9	9	9			
対象指標	ア 人		327	273	326	349			
成果指標	ア 回		40	45	55	55			
上位成果指標	ア 戸		300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 園芸産地の育成を図るため補助事業が開始された。開始年代不明	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢化等により、農家数、栽培面積等は減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 当該事業により、先進地研修や各種検討会等、協議会活動が活発に行われてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。	

事務事業名	園芸振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 農家の栽培技術の向上、経営体質の強化が進められることによって、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 振興組織の育成は産地拡大、消費者への野菜の安定供給といった観点からも必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 霧島市内の主たる園芸振興会を対象としており園芸振興が目的となっている為、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 今後伸びるであろうと思われる将来的有望な品目に育成策を集中させるなど目的の再設定を検討すべきと思う。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止した場合、農家所得の向上、産地の拡大・育成等に支障がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 園芸振興組織自体の統合を進める必要がある。振興会については、合併済みであって統合する必要はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 組織合併等を行うことにより、事業費の削減が見込める。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 組織加入に制限を設けていないため、受益機会は公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	研修回数等の増加を提案することによって、事業効果の向上を図る。品目に育成策を集中させるなど有効な手段の方法を再選択する必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 全ての関連組織に対しての育成策から、今後伸びるであろうと思われる将来的有望な品目に育成策を集中させるなど手法の検討をする。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 政治的な意見等ある。よって、政治的意見を排除することなど手段の変更を行う。																						

No.	520-080	事務事業名	果樹生産振興組織育成事業					所属部	農林水産部
								所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり					課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興					所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援					電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
生産拡大、品質向上、産地銘柄の確立などを目的とし、本市果樹の振興を図るため、果樹生産振興団体に補助交付する。[園芸団体数]3団体:単人地区果樹部会(みかん・桃)・JAあいら福山地区果樹部会(みかん)・牧園町農協果樹部会(栗) 平成19年度208,000円 平成20年度208,000円 平成21年度188,000円	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 62 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補助交付団体数</td> <td>団</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 補助交付団体数	団	イ		ウ	
名称	単位								
ア 補助交付団体数	団								
イ									
ウ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 果樹振興組織会員 <補助金交付先> 単人地区果樹部会・JAあいら福山地区果樹部会・牧園町農協果樹部会 <補助対象活動>総会・研修会の開催など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 果樹振興組織会員</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 研修会開催</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 果樹振興組織会員	人	イ 研修会開催	回	ウ	
名称	単位								
ア 果樹振興組織会員	人								
イ 研修会開催	回								
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 栽培技術の向上 研修会等の活性化	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 現年度研修等の回数/過年度研修会回数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 現年度研修等の回数/過年度研修会回数	%	イ		ウ	
名称	単位								
ア 現年度研修等の回数/過年度研修会回数	%								
イ									
ウ									
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位								
ア 認定農業者数	戸								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円				
		国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	296	208	208	188
	事業費計(A)	千円	296	208	208	188	
活動指標	ア 団	3	3	3	3		
対象指標	ア 人	79	74	74	74		
	イ 回	9	10	11	11		
	ウ						
成果指標	ア %		111	110	100		
	イ						
	ウ						
上位成果指標	ア 戸	300	313	323	321		
	イ						
	ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 果樹産地の育成を図るため補助事業が開始された。 開始年代不明
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 高齢化等により、農家数、栽培面積等は減少傾向にある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 当該事業により、先進地研修や各種検討会等、協議会活動が活発に行われてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。

事務事業名	果樹生産振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	研修回数等の増加を提案することによって、事業効果の向上を図る。品目に育成策を集中させるなど有効な手段の方法を再選択する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 全ての関連組織に対しての育成策から、今後伸びるであろうと思われる将来的有望な品目に育成策を集中させるなど手法の検討をする。																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
各地区で栽培しやすい果樹もあるために統一が難しい。よって交流を頻繁に行い集中の為の理解を求める。

No.	520-090	事務事業名	市葉たばこ生産振興会運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
事業の説明:霧島市葉たばこ生産振興会を対象に運営及び活動に対する補助金を交付する。 福山地域を除く各旧市町単位で活動していた葉たばこ振興会を合併統合し、平成19年度に霧島市葉たばこ生産振興会を設立し、組織の合理化・技術の集約向上を図る。(国分市葉たばこ生産振興会、溝辺町葉たばこ生産振興会、横川町たばこ生産振興会、牧園町たばこ生産振興会、霧島町葉たばこ生産振興会、隼人町葉たばこ生産振興会の6組織が平成19年度に合併)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事業概要と同様	ア 補助金交付団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ	
霧島市葉たばこ生産振興会員		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<補助金交付先>霧島市葉たばこ生産振興会		ア 葉たばこ生産振興会員	人
<補助対象活動>総会・研修会の開催など		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ウ	
研修会を通じて、栽培技術の向上を行う。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ア 研修回数	回
経営体質が強化される。		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 認定農業者数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	609	494	494	445	
	事業費計(A)	千円	609	494	494	445		
活動指標	ア 団体		1	1	1	1		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人		42	33	34	32		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 回		36	38	7	8		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 人		300	313	323	321		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
葉たばこ産地の育成を図るため補助事業が開始された。開始年代不明。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
健康増進方の施行など喫煙をめぐる社会環境の変化に伴う消費量の減少や、耕作者の高齢化の進行等により、年々耕作面積は減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
会員から現地研修や各種検討会等、協議会活動が、活発に行なわれてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。	

事務事業名	市葉たばこ生産振興会運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 葉たばこの農業者組織の組織力を強化することで、政策に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 振興組織の育成は産地拡大、農政推進といった観点からも必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象を霧島市葉たばこ生産振興会員とし、意図を研修等を通じた技術向上としているため妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 振興会が合併後間もないため現行の組織の強化を図ることで、会員全体の技術向上が図れる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 栽培技術向上のための研修、現地検討会等が活発に行われており、事務事業を廃止した場合、農家所得の向上、葉たばこ産地の拡大・育成等に支障がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業主体の運営方法について検討の余地がある。 また、運営全体の補助となっているが、用途を明確にする必要がある。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 組織加入に制限を設けていないため、受益機会は公平にある。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	生産技術の均一化や補助事業の内容を見直すことで、有効性及び効率性を改善できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 組織の強化を図りながら活動体制の見直しを行い、より有効的な活動に対し補助金を投入することで、会員全体の生産技術向上を図る。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 近年の厳しい社会情勢にも対応しうる経営感覚に優れた担い手の育成や一層の省力化生産体制を確立するため、関係機関の連携及び振興会組織の強化が急務である。

No.	520-100	事務事業名	市茶業振興会運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
合併以前より旧市町ごとに茶の生産者組織である茶業振興会が組織されていたが霧島市の誕生に伴い平成19年3月に、これらの組織を統一して霧島市茶業振興会が発足した。 茶業振興会では、技術講習・先進地研修等を通じ高品質な茶づくりと銘柄のブランド確立を目的に活動している費用の一部補助する事業である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (不明 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
霧島市管内の各茶業振興会の運営に対し補助金を交付した。		ア	補助交付団対数
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	研修会開催回数
20年度と同様		ウ	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市茶業振興会員		名称	
		単位	
		ア	会員数
		イ	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
技術講習・先進地研修に多くの参加者があり、会員全体の技術向上等を図る。		名称	
		単位	
		ア	研修参加者数/会員数
		イ	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア	認定農業者数
		イ	戸
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,802	1,332	1,332	1,200		
	事業費計(A)	千円	1,802	1,332	1,332	1,200			
活動指標		ア 団体	7	1	1	1			
		イ 回	2	2	5	8			
		ウ							
対象指標		ア 人	221	221	221	200			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	45	50	60	80			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和40年代に茶生産者の技術向上等を目的に各市町・郡・県段階でも生産者団体が設立されたため、運営を助成し始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
ペットボトル茶の消費については、順調に推移しているものの主たるリーフ茶の消費量が全国的に低迷している。銘柄確立に向けて霧島市茶業振興会が設立され、全体的な事業として各支部会員理解のもとで全国茶まつりへの取り組みを開始した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
会員は、全国茶品評会で産地賞を獲得することにより知名度の向上・ブランド確立を図ろうとしている。議会においても、霧島市で栽培された農産物のブランド化について意見聴取がなされている。	

事務事業名	市茶業振興会運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 茶の栽培技術の向上を目指し実施する研修会等への参加者が増加することで、体質の強化が図られるので結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農産物のブランド化は市長マニフェストにも盛り込まれており、生産者だけではなく行政にとっても主要な課題であるため、その活動を茶業振興会が行っていることを考慮すると、市が振興の手段として補助することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 茶のブランド化の中心的な役割を担っているのは茶業振興会であるため対象については妥当である。また、ブランド化のためには技術力のある茶生産者が増える必要があることから意図も妥当。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 茶業振興会の一本化はできたが、活動を支部組織で行っているため技術の向上においては格差等が生じるため、研修の開催方法等を変えさせることによって、振興会会員の技術統一化ができ、全国に向けた茶販売体系の確立が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 他の茶産地に比べた競争力が維持できなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 各品目毎単独運営費補助事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他の作目との協議会運営をひとつにできないために統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 振興会の活動には会員間の交流なども含まれているため、その部分は補助金の用途から外すことで削減余地はある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現状では市が事務局機能を担っており、生産者やJAなどがこれを担うことが可能であれば、補助金申請から支出に至るまでの事務処理手続きに係る事務時間を削減する事が可能。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内茶生産者のほぼ全員が会員であるため、受益機会は公平といえる。振興会会員は会費を負担しており、補助金が振興会の運営費全体の14%程度であって他の補助金とも公平性が保たれる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・公平性は適切な事業であるが、有効性においては、会員相互間の技術差の是正や会員による振興会事務局運営など改善課題が残存している。また、効率性においては振興会会員の意識改革を図り、模範的な組織へと育成していくべきである。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 指導機関が連携して組織運営の助言や定期的な技術講習会を開催すると共に、会員相互の技術高位平準化を図る。 組織運営を自力で行える人材の育成を行う必要がある。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在の組織では、自力の運営はできない可能性が高い。 人材の育成を行うことで振興会運営等本来有るべき姿への導き、組織の自立化を後押しする。																							

No.	520-110	事務事業名	観光農業振興組織育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
果樹産地育成を図るため、観光果樹の振興及び会員の技術向上を目的とし、市内各観光農園事業主で構成する団体に対して補助金を交付する。 【構成団体数】2団体 【観光農園数】22園 平成18年度96,000円 平成19年度78,000円 平成20年度78,000円 平成21年度71,000円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 62 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様		ア	補助交付団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	
ウ			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 観光農業振興会会員 <補助金交付先> 国分観光農業振興会・溝辺町観光農園果樹部会 <補助対象活動> 総会・研修会等の開催など		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	観光農業振興会会員数
		イ	研修等の回数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 栽培技術の向上(品質がよくなる、生産量が増える) 研修会活動を活発化する		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	現年度研修等の回数/過年度研修会回数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	認定農業者数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	96	78	78	71		
	事業費計(A)	千円	96	78	78	71			
活動指標		ア 団体	2	2	2	2			
対象指標		ア 人	22	22	22	22			
		イ 回	10	12	15	15			
成果指標		ア %		120	125	100			
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 栽培講習会、先進地研修会、販売検討会等を通じ、日々高品質・低コストを目指すため昭和62年・平成元年にそれぞれ組織が設立され、活動に対し補助を同年開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 後継者へ経営移譲されていく状況にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	観光農業振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	振興会の統合を図ることによって、事業効果を向上させる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 組織統合に向けて、事業展開を行う。																					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下		/	/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下		/	/																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 組織統合については現在の組織形態に違いがあり、統一的な動きができない。
 組織間交流を頻繁に行い、必要性を理解してもらう。

No.	520-130	事務事業名	市農林技術員連絡会運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興助成事業(市単独)		
							市補助金交付要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
農林技術員連絡会に対し、補助金を交付し、霧島市の農林水産業の推進を図る。 (会員) JA・森林組合・県・市等の農林業関係機関職員 約250名 (対象活動) 研修等の実施により会員の資質向上を図り業務に反映する。 農産部会・生活部会・林務水産部会・畜産部会・農地部会 (補助金額) 平成20年度468千円 平成21年度468千円予定							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 不明 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事業概要と同様		ア 補助金交付団体	
		イ	
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度と同様		名称	
		単位	
		ア 霧島市農林技術員連絡会会員数	
		イ 研修会等の活動	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市農林技術員連絡会会員		名称	
<補助金交付先>霧島市農林技術員連絡会		単位	
<補助対象活動>協議会の運営(総会・研修会の開催など)		ア 研修会等に参加した会員数/会員数	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
会員の資質の向上		名称	
連絡会の活動の活発化		単位	
		ア 認定農業者数	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)			
経営体質が強化される。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	457	468	468	422		
	事業費計(A)	千円	457	468	468	422			
活動指標		ア 団体	1	1	1	1			
対象指標		ア 人	253	252	230	221			
		イ 回	26	25	25	26			
		ウ							
成果指標		ア %	80	80	85	87			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
農林業に関する機関の職員の連携と資質向上を目的に昭和40~50年代に各市町村・県単位でも設立され、支援を行うこととなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
構成機関の合理化により職員数が年々削減されてきており、それに伴い技連会への加入者数も減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
会員数の減少等により以前に比べ組織の活気が失われつつあるとの意見が関係機関などからある。	

事務事業名	市農林技術員連絡会運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 農業経営体強化のためには、農林水産行政の円滑な推進は市のみでなく関係機関(県・JA等)との連携が不可欠であるため、結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 技術員連絡会活動、会員の資質向上と連携強化を行うことで農業振興を図るので公共関与するべきところである。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は会員で、意図は資質向上であるため対象・意図ともに妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 農林技術連絡会には農産・林務等の部会が設けられているが活動が十分でない部会も一部見受けられる。積極的に研修会等を実施することによって連携を図ることはもちろんのこと更なる職員員の資質向上も期待できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事務事業を廃止した場合は、事業費の減少に伴い農林技術連絡会の活動が衰退し関係機関との連携などに影響が及ぶ可能性がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 活動内容には自主的に行うべきものと連携機能の維持に必要な活動が混在しており一部見直しの余地がある。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 組織や部会の再編等により事務効率を改善する余地はある。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会・負担について公平公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	活動が活発でない組織の要因・活動改善が必要である。 事務効率や事業の見直しを行なう必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 活動が低迷している部分については、改廃統合を検討する。 組織内の連携機能や資質向上に支障が出ない程度に事業費の適正化を行なう必要がある。																							
		<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特に課題は存在しない。改革改善を実施すべきである。

No.	520-150	事務 事業名	全国山村振興連盟参画事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策 体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 6	0 1	0 3	27856	農業振興費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
山村振興法第7条の規程に基づいて指定された振興山村(昭和25年2月1日時点の旧市町村の区分を単位として指定されています。)地域の市町村及び国会議員、都道府県が会員となり、山村振興関連施策、政策の充実強化を図る活動を実施している。 振興山村市町村は、平成17年10月1日現在で845市町村あり、ほぼ全数の807の市町村が会員となっている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 46 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

(1) 事務事業の目的と指標																																									
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 普通会費の均等割(全国連盟分・県支部部分)と特別会費の事業割(全国連盟分・県支部部分)を連盟の運営に対し負担金を納めている。 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 全国山村振興連盟 <対象組織> 全国山村振興連盟 <対象活動> 協議会総会・各種事業の実施 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 協議会の適切な運営を図る。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 体質が強化される。	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 構成市町村</td> <td>団</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 協議会・研修会</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 情報収集数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		名称	単位	ア 構成市町村	団	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 協議会・研修会	回	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 情報収集数	回	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者	人	イ		ウ	
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 構成市町村	団																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 協議会・研修会	回																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 情報収集数	回																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 認定農業者	人																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入 量	事業 内 財 源 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	107	107	55	55		
		事業費計(A)	千円	107	107	55	55		
活動指標		ア 団	807	807	807	807			
対象指標		ア 回	0	0	0	1			
成果指標		ア 回	1	1	1	1			
上位成果指標		ア 人	300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国が、山村振興法第7条の規程に基づいて指定された振興山村に霧島市の旧霧島町全域が指定を受け、昭和46年事業導入を行うにあたり連盟の加入を行った。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	全国山村振興連盟参画事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 山村振興法の趣旨に沿って、振興施策の継続を促し、農業振興等に結びつくため政策体系に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 公共事業等について衆議院議員等の要望活動と情報提供が主な事業参画の内容なので、関与すべきかどうかは政治的な判断によって決まる。			
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 協議会を対象とし、その協議会運営が適正にされること意図としているが、市が協議会運営を適正化することが適当ではない。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 情報提供等のみであって、成果向上余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 情報提供等がなくなるばかりで、特に必要ではない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 協議会を退会すれば、負担金はなくなる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 予算執行事務のみであって、削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 振興山村指定市町村と国会議員で構成される組織であるので、受益については公平である。ただし、事業内容から見た場合に住民に対するメリットが見出せないために公正であるといえない。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	全ての項目において見直し余地がある。 政治的な決断を要し、協会退会の選択肢がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-200	事務事業名	担い手アクションサポート事業	所属部	農林水産部
		政策名	0 3 活力ある産業のまちづくり	所属課	農政畜産課
政策体系		施策名	0 1 農・林・水産業の振興	課長名	富永 克義
		基本事業名	0 1 農林漁業経営体への支援	所属G(係)	農政G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 2	81090	農業総務費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
農業従事者の高齢化や後継者不足、農業就業人口の減少など、地域農業の担い手不足が顕著化してきている今日、将来にわたり農業生産活動の持続的な発展を図るため、地域の担い手を明確にしなが、認定農業者への誘導や農業経営法人化の推進、集落営農への取り組み支援等、地域農業を担う農業者育成に関係機関・団体と一体的に取り組むことで、望ましい農業構造を確立する。 ・主な支援策 研修会の開催、経営診断・相談会、担い手育成支援、集落営農組織化推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 19 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) ・研修会の開催:パソコン簿記講座 25回、農業経営改善研修会 1回 ・経営診断・相談会:相談員による経営支援(相談窓口の設置) ・担い手農家育成支援:経営改善計画作成指導 随時 終期到来者の計画達成状況確認 随時 ・集落営農組織化推進:座談会開催 随時、研修会の実施1回 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市担い手農家:認定農業者及び認定志向農業者、高齢化や後継者不足が進行する集落の農家 <補助金交付先>霧島市担い手育成総合支援協議会 <補助対象活動>担い手の確保・育成、集落営農組織化の推進に係る活動 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地域の中核的農業者(将来の地域農業を支える担い手)となる。 ・組織化(労働力の補完や生産コストの低減化)について合意する。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		名称 単位 ア 補助金交付団体数 団体 イ 補助金額 千円 ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 農家 戸 イ 集落 集落 ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 新規認定農業者数 戸 イ 集落営農合意形成(準備導入)地区数 地区 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 認定農業者数 戸 イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		105	105	457		
	事業費計(A)	千円	0	105	105	457			
活動指標		ア 団体		1	1	1			
		イ 千円		105	105	105			
		ウ							
対象指標		ア 戸		7	11	3			
		イ 集落		1	1	2			
		ウ							
成果指標		ア 戸	17	18	17	7			
		イ 地区	4	4	2	4			
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国は、平成19年度から平成21年度までを農政の集中改革期間と位置づけ、前年度まで県段階に設置されていた地域担い手育成総合支援協議会を市町村段階に設立することになった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農業就業人口の減少や農業者の高齢化、農業後継者不足が深刻化しており、将来の地域農業を支える担い手や集落営農組織の確保・育成が急務となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
自己の経営改善や組織活動への取組意欲に応じた支援を行って欲しいとの要望が、事業対象者(農業者)から出ている。	

事務事業名	担い手アクションサポート事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2. 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 各種支援を担い手へ集中し、地域の中核的農業者としての自覚を促し経営他が強化し、小規模農家においては、農業機械等への投資が大きな負担となっていることから、集落営農の組織化によりコスト低減や労働力の補完ができるため経営体質が強化され政策に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 農業従事者の高齢化、地域農業の担い手不足が顕著化しており、将来にわたり持続的な農業発展を図るためには、担い手及び集落営農組織の確保・育成が急務となっているため、市及び関係機関・団体が一体となって事業に取り組む必要があるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定する必要がないことなどから、対象意図については、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 現在、全認定農業者一律に能力・技術向上のための研修会等を実施しているが、参加意欲及び経営改善意欲に格差があることも事実で、意欲ある者への支援をより重点化する必要があるため、意欲のある農業者に対し事業を重点化することで、各地区・各部門でのリーダー育成が図られ、認定農業者組織及び集落営農組織全体の活性化が期待できる。 組織体制における意識改革を実施することが必要である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 本事業を廃止した場合、農業者の高齢化や後継者不足が深刻化し、また、新規就農も見込めない中で、将来にわたり持続的な農業生産活動を維持・発展させることが困難となる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ 集落営農活動支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 上記事業を統廃合し、主にこの事業で行う。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 補助対象事業の一定割合を負担することが義務付けられているために削減余地がない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 協議会の事務局は市に設置している。また、各総合支所に担い手アクションサポートチームを設置しており、地区毎に担い手支援が行えるよう、担当職員が兼務で配置されている。 また、本庁に総合窓口相談員を設置、協議会の構成員である農協も同様の役割を担っており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 受益機会については公平公正である。

3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率性・公平性は適切な事業である。対象の絞込みを行い、支援の重点化を行うことで成果の向上を図る。																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 集落営農組織の育成を図り、農地を集落全体で共有する意識付けが必要となるが、その場合においても、集落におけるリーダーとなり得る農業者(認定農業者)の育成が絶対条件である。 地域における農業生産活動の持続的発展のため、担い手への支援をより強化・重点化し、柔軟性を持たせた支援を行っていく。																					

No.	520-220	事務事業名	農政推進対策協議会運営事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 3	5243	農業振興費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市農政を総合的に推進するため市長の諮問機関として設置。 組織 協議会は15人以内で組織する。(1)知識経験者(2)関係農業団体の代表者(3)農業生産組織の代表者 (4)消費者、食品関連産業の代表者その他地域住民等で市長が適当と認めるもの 任期 2年 主な審議内容 ・農業経営・生産対策に関すること・農業振興地域整備に関すること・その他農政に関すること							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要のとおり		ア 協議会の開催回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 平成20年度と同じ	⇒	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
協議会委員 協議する案件	⇒	名称	単位
		ア 協議会の委員数	人
		イ 協議案件数	件
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農政について意見が述べられる。	⇒	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 決定された案件数	件
		イ 会議の出席率	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。	⇒	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 認定農業者	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	118	73	170	509		
	事業費計(A)	千円	118	73	170	509			

活動指標	ア	回	2	1	2	4		
	イ							
対象指標	ア	人	15	15	15	15		
	イ	件	2	1	3	4		
	ウ							
成果指標	ア	件	2	1	3	4		
	イ	%	93	93	87	100		
	ウ							
上位成果指標	ア	人	300	313	323	321		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 霧島市の農政について、農業関係者以外の者も交え協議することで、広い視野での議論が行なえる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 案件について、これまで農業振興地域整備計画に係る案件が主だったが、新たに農業へ参入しようとする者の支援策等について協議がなされるようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	

事務事業名	農政推進対策協議会運営事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 協議会を開催して農業以外の意見を交えることは、農業行政運営の透明性を確保することにつながり、政策体系に結びついている			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市の農業行政の方向性や後継者育成の協議、また、農業振興地域整備計画の策定など市が行うことは妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 農業者以外の者も委員に加え協議しており、対象・意図とも妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 目的としての成果は上がっており、特別に成果向上の余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 農業振興地域整備計画の変更など、霧島市農業政策を決定する会議であるため廃止はできない。廃止することは、農業行政の透明性の確保や運営に支障をきたすことになる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 農業振興地域整備計画の変更や農業後継者の育成支援策等を決定する会議であり、農政において類似する会議はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、委員の報酬(会長5,500円、委員5,100円)のみであるため削減の余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 業務内容は主に資料作成であり人件費の削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 農業者以外の者も委員に加え協議しており、受益者負担は公平である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であり、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-250	事務 事業名	農業関係資金利子補給事業				所 属 部	農林水産部		
							所 属 課	農政畜産課		
政策 体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり			課 長 名	富永 克義		
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興			所 属 G (係)	農政グループ		
	基本事業名	0	1	農林業経営体への支援			電 話 番 号	45-5111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠			
	一般	0	6	0	1	0	3	82040	農業振興助成事業 (利子補給)	
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								事業期間		
農業近代化資金利子補給金 農業経営基盤強化資金利子助成金 農業振興資金利子助成金を3つの利子補給制度によって、借受者に対し利子助成金を交付して、農家の資金調達を容易にする。								<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
実施主体 国県市								<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		
事業対象 農業者全般 認定農業者 農業者全般 (17年3月借入分まで・17年度利子助成廃止)								↳ (S 43 年度 ~)		
補助率 は金利変動に伴い変動 今後実績なし								<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		
								↳ (年度 ~ 年度)		

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段 (主な活動)	
20年度実績 (20年度に行った主な活動)	利子補給実績 農業近代化資金利子助成 上期108件 3,965,775 円 下期103件 3,664,907円 農業経営基盤強化資金利子補給 11件 614,038円 農業振興資金利子補給 5件 303,231円
21年度計画 (21年度に計画している主な活動)	20年度借入れ実績と先の借入れ実績による。予定10,150千円
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	農業者 (認定農業者) 交付先 農業者・融資金融機関 (代理申請者) 活動対象 農業施設の近代化を図る際に借入を行い、償還が適切にされる。
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金を融資 (利子補給) することにより、農業経営の安定を図る。
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	経営体質が強化される。

活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 利子補給額	円
イ	
ウ	
対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 農家個数	戸
イ 借入実施件数	件
ウ	
成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 現年度借入件数 / 前年度借入件数	%
イ 現年度借入実行額 / 前年度借入実行額	%
ウ	
上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 認定農業者数	戸
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)
投入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円	537	452	610
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	8,742	9,008	9,098
	事業費計 (A)	千円	9,279	9,460	9,708	10,150
活動 指標	ア	円	9,278,448	9,459,323	8,547,951	10,149,226
	イ					
	ウ					
対 象 指 標	ア	戸	5,889	5,889	5,889	5,889
	イ	件	145	160	124	184
	ウ					
成 果 指 標	ア	%	88	43	75	120
	イ	%	41	38	64	200
	ウ					
上 位 成 果 指 標	ア	戸	300	313	323	321
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	国県の制度の実施に伴い昭和43年から、支援を行うこととなった。
事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成19年から3年間農業近代化資金は、認定農業者で500万円以上に関する部分は、国が無利子化を図ったので、市の利子助成は無くなった。農業経営基盤強化資金利子助成については新たに利子助成が開始された。農業者も用途に応じた低利な資金を利用している。
この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

事務事業名	農業関係資金利子補給事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金調達を容易にすることによって、農業経営の安定が図られ経営体質の強化がされるため政策体系に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 農業は生活の安定確保をする上で、最も基本的な産業であることから、生産性の高い魅力ある資金制度を推進し、資金面で農業担い手を支援することは妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 農業近代化資金法及び霧島市農業近代化資金利子補給金交付規程・霧島市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱・霧島市農業経営基盤強化資金制度実施要領に基づき実施しているので適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 農業者の借り入れを容易にする制度であって、継続していればPR等が成果も向上するが、現状ではその方法がない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 利子補給、助成が無くなると農業者の負担が大きくなり、経営規模の拡大、生産性の向上や経営改善が進まないと考えられる。現在の利用者には、融資機関との契約があることから、利子補給を廃止することは出来ない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在の利用者に対しては、融資機関との契約があることから、事業費の削減は困難である。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 国・県の制度に関連した事業であり、利子補給事務も決められた一連の事務で削減できない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 国・県・市借受者とも応分の負担をしている。また市の利子補給対象がある時点での対象は、一定要件を満たす全ての農業者を対象とするので公平公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	経営改善等に有効な事業であり、目的・有効性・効率性・公平性は適切であって、現状維持とする。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	520-260	事務事業名	農業経営振興資金貸付基金事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

霧島市に居住する60歳以下の農業を営む者及び営もうとする者が、農業の経営の合理化並びに近代化を進めるための施設等の設置及び改善に必要な資金・生産資材の購入その他経営振興上特に必要な資金・災害復旧に必要な資金・農業後継者が経営の改善、規模拡大等を行うに必要な資金・新規就農者が経営開始に必要な資金に対し、貸付限度額を事業計画の80%以内で最高300万円とし、貸付利率は年1%(農業後継者(満35歳以下)及び新規就農者の資金の場合は無利子)、貸付期間は8年以内(据置期間3年以内(農業後継者(満35歳以下)及び新規就農者の資金の場合は2年間)、償還方法は一括償還又は5年以内の分割(農業後継者(満35歳以下)及び新規就農者の資金の場合は6年以内)で貸付を行う事業

事業期間

単年度のみ

単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~)

期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 貸付利息・定期預金の利息分に端数を継ぎ足し基金へ繰入れた。		ア	借入実施件数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同じ		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 60歳以下の農業を営む者及び営もうとする者		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	農業従事者
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業経営の安定を図る。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	現年度利用者/農業従事者数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	認定農業者数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	25	184	208	113	
事業費計(A)		千円	25	184	208	113		
活動指標		ア 件	5	1	3	10		
対象指標		ア 人	6,444	6,444	6,444	6,444		
成果指標		ア %	0.08	0.02	0.05	0.16		
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合併前に旧福山町で行っていた事業で、合併後は全市で行えるようになったもの。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特になし

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	農業経営振興資金貸付基金事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 本市の農業を振興し、農家が経営規模の拡大及び経営改善を図るために必要な資金を貸し付けるため、経営体質の強化され政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 農業は生活の安定確保をする上で、最も基本的な産業であることから、資金面で農業を支援することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は、全農業者が利用されることもあり経営安定を意図しているので適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 利用状況については、意図的に向上させられない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 経営規模の拡大、生産性の向上や経営改善が進まなくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 農家の意欲をなくすことになるので削減できない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 予算執行等の事務のみであって、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 貸付決定は、霧島市金融運営協議会で協議し決定するので適切である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	基金運営に伴う発生利子相当額にての事業であり適切である。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-270	事務事業名	農業後継者組織等育成事業					所属部	農林水産部	
								所属課	農政畜産課	
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり					課長名	富永 克義	
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興					所属G(係)	農政グループ	
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援					電話番号	45-5111	
予算科目	会計	一般	0 6	0 1	0 3	82045	事業名	農業振興助成事業	法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間			
<p>若い担い手等の育成を図るために、農業後継者組織等の研修・講演会・視察研修等を実施するための活動の助成を行う。</p> <p>市の活動は、組織に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 [交付団体] 高原クラブ(霧島)・自営青年クラブ(隼人)・大地クラブ(福山) コスモスクラブ(はやと)・ほぼづえ会(横川)</p>							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 補助交付団体	
		イ	
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
20年度と同様		名称	
		単位	
		ア 新規就農者数	
		イ 担い手農家数	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
新規就農者、担い手農家		名称	
< 補助金交付先 > 交付先5団体		単位	
< 補助対象活動 > 総会・研修会の開催など		ア 事業参加農業後継者	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
地域の農業を担う後継者等が会員相互の交流を図り、地域農業の振興に貢献する。能力のある農業後継者を育成することで、新規就農者の意欲向上を助長する。		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)			
経営体質が強化される。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	221	192	192	174		
事業費計(A)		千円	221	192	192	174			
活動指標		ア 団体	5	5	5	5			
対象指標		ア 人	17	15	15	15			
		イ 人	420	424	430	437			
		ウ							
成果指標		ア 人	54	56	58	62			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	314	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
魅力ある農業経営を目指すために農業後継者同志が団結し、相互の意識・技術の向上を図るため、旧市町より引き継いでいる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
近年、農業従事者の高齢化・後継者不足により農業構造の脆弱化が懸念されていることから、新規就農者・農業後継者の育成・確保が重要視されている。また、5年前と比較して、新規就農者数は増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
新規就農者・農業後継者等の育成は地域農業の発展を図る為にも重要な課題であり、今後も引き続き支援が必要である。(議会)	

事務事業名	農業後継者組織等育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 地域の特性を活かし環境とも調和した持続性の高い農業を推進するとともに、経営安定と効率的経営を図るため各生産者団体において、研修・講習会、視察研修等を実施するための活動への助成を行うことは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びつく
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 農業後継者育成・確保は、市においての重要課題となっていることや各組織において研修・講習会、研修視察等を実施していることにより妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 活動が活発な後継者組織を対象としており、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 性質の類似する組織を統合することで、会員相互の交流が広がり、更に活動が活発化する可能性がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 経営改善等さまざまな技術習得の機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 団体の一本化が図れば事業費の削減は可能。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 団体の統合が出来れば、事務処理手続き等が軽減されるので、業務時間については削減できる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 受益機会については、組織に加入することで全ての関係農業者にあることから公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業統合を行なう必要がある。 事業統合を行うことで、事業費の削減等が可能である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 総括での事業改善を実施する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 経営品目により余暇時間等のずれがある。 研修や交流の必要性をまずは会員に理解してもらう。																							

No.	520-280	事務事業名	溝辺ふるさと祭り運営支援事業				所 属 部	溝辺総合支所
							所 属 課	産業建設課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課 長 名	浜田 健治
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所 属 G (係)	農政畜産G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電 話 番 号	59-3111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82055	農業祭関連事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
溝辺地域における一大イベントとして住民から親しまれ、農畜林産物の展示・販売、郷土芸能・文化発表による伝統芸能の伝承等、住民自らが地域の良さを再認識することで活力ある地域づくりを目指す。 また、地域内外に向けて情報発信することで、農畜林産物の産地化を図るとともに、関係機関・団体(市、教育委員会、農協、文化協会、商工会等)と住民が一体となり、魅力ある農村社会を創造する。 ・開催日：毎年11月3日(文化の日) ・開催場所：霧島市溝辺町麓地内 上床公園一帯							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳(年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		名称	単位
・農畜林産物の販売促進(農畜産物のPR・販売) ・郷土芸能・文化発表 ・農業者団体による球技大会		ア イベントの開催数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 来場者数	人
前年度に同じ。		ウ 参加者数(出店・出品・芸能発表者数)	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民及び市外からの来客者 <補助金交付先>霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会 <補助対象活動>霧島市溝辺ふるさと祭りの運営費		名称	単位
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ア 来場者数	人
・農畜林産物の情報発信を行うことで、作目毎の産地化を図る。		イ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ウ	
経営体質が強化される。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 現年度来場者数 / 前年度来場者数	%
		イ 参加者数 / 来場者数	%
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳				
		国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	852	800	760
	事業費計(A)	千円	852	800	760	684
活動指標		ア 回	1	1	1	1
		イ 人	2,850	2,900	3,000	3,200
		ウ 人	800	820	850	870
対象指標		ア 人	2,850	2,900	3,000	3,200
		イ				
		ウ				
成果指標		ア %	101.8%	101.8%	103.4%	106.7%
		イ %	28.1%	28.3%	28.3%	27.2%
		ウ				
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321
		イ				
		ウ				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧溝辺町時代からの継続事業。昭和57年に第1回ふるさと祭りを開催。平成20年度で第27回。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
情報発信の成果もあり、地区外からも多数の来場者がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
合併を機に、昔からある地域文化のひとつが消えてしまうことに市民が懸念を感じている。今後も存続を希望する声が多い。	

事務事業名	溝辺ふるさと祭り運営支援事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	産業建設課
-------	----------------	-----	--------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 農畜林産物の情報発信源として事業を行うことで作目毎の産地化が図られ経営体質強化に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地域農業者の意欲向上のために、市、関係機関及び市民が一体となって取り組む必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 溝辺地区はもとより、市内外にも広く周知されており、対象・意図の変更は必要ない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 組織の統廃合や予算減少により事業規模も縮小しているが、実行委員会を中心に、適宜事業内容の見直しを行うなど、自主努力もしている。 また、実行委員会だけでなく、地域農業者団体等の協力も得ながら事業運営がなされており、今後も一定の成果が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 地域市民には生きがいとコミュニケーションの場として古くから親しまれており、歴史と伝統の証でもある。事業廃止により直接的な影響はないと考えられるが、相対的な地域の活力は衰退すると思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市内各地で開催される類似事業と統廃合若しくは連携し各地区持ち回りで開催するなど、検討の余地もある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費内で最大限の創意工夫がなされており、削除余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 実行委員会は、市をはじめとする9つの関係団体から構成されているが、事業の企画立案から運営、予算差引等、事業に係る事務はその大部分を市が担っている。 地域まちづくりという事業目的からも、今後は、実行委員会の構成員に市民も参画し、将来的には、地域住民自らが事業の企画立案、運営を行えるよう誘導する必要がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 溝辺地区を問わず、市内各地、市外からも多数の来場者があり、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、類似事業との統合を検討する。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上																			
	維持 低下																			
<改革改善案> ・関係機関・団体と住民が一体となり取り組むことで、少ない予算で効率的な事業展開を図る。 ・地域毎の事業展開も必要であるが、類似事業と統合または連携することで、より効率的に対外的PRが可能である。																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・市を中心とした実行委員会組織を、早い段階で地域住民を含めた組織とし、住民主体の事業へと移行を図る。 ・当事業に対する地域住民の思い入れが強く、早い段階での統合に対しては難色を示されることが否めない。従って、既に各地域を統合し、一本化を進めている農業者団体を中心に事業を展開(企画・運営)することで、事業の統合・連携に対しての違和感を払拭できる。																				

No.	520-290	事務事業名	農業専門指導員設置事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林漁業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市管内における農家を中心に、経営指導や営農相談に応じる農業専門指導員を設置し、農畜産物の産地強化や農業経営体の育成強化に努め、本市農業の振興を図る。 [指導員設置数] ・農政専門指導員 2名 ・畜産専門指導員 1名 [主な活動] 農家への巡回指導 営農相談の対応							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (不明 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
農家の営農指導及び巡回指導 営農相談の対応		ア 農家巡回日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 営農相談件数	件
20年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内の農家 新規就農者や後継者		名称	
		単位	
		ア 農家数	戸
		イ 新規就農相談者数	戸
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
生産農家の技術の向上 新規就農者や後継者の確保		名称	
		単位	
		ア 農業粗生産額	千円
		イ 農家戸数	戸
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質の強化		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,914	6,445	6,464	6,506	
		事業費計(A)	千円	5,914	6,445	6,464	6,506	
活動指標		ア 日	360	540	540	540		
		イ 件	260	468	470	470		
		ウ						
対象指標		ア 戸	5,892	5,892	5,892	5,892		
		イ 戸	7	9	15	17		
		ウ						
成果指標		ア 千円	19,710,000		19,700,000	19,700,000		
		イ 戸	5,889	5,892	5,892	5,880		
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 多様化・高度化する農業生産技術や産地形成に的確に対応するため、高度な技術、専門的な知識を有する指導員を昭和の時代に設置をした。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農協営農指導員や県普及指導員が大幅に人員削減されていることで、市専門指導員の活動範囲や重要性も大きくなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 営農指導対象者から専門的な技術を有することなどから、今後も引き続き設置が望まれている。	

事務事業名	農業専門指導員設置事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 農家の技術・営農指導を定期的に行うことで、安定的な農業経営の確保に努めることで、農業者の体質強化になり、政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農協営農指導員及び県普及指導員の減少により、市専門指導員の設置が重要視されている。また、販売流通が多角化していることで、農協営農指導員の手の届かない(農協出荷以外)の農家への指導も増えていることから、市専門指導員の設置は必要不可欠である。他地域に勝ち得る強い園芸産地を形成するためにも専門知識を有する市専門指導員の設置は必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 指導巡回が市内全域に行き渡るよう活動範囲を担当割しているため、対象の限定・追加は不要である。また、農産物の産地強化及び農業経営の安定を図るためであることから意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 農協営農指導員及び県普及指導員と連携を図り、円滑で効果的な指導が出来るよう調整を図る。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 生産技術の低下や園芸産地の脆弱化、新規就農者の指導不足により将来の本市農業の減退は避けられない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島市担い手育成総合支援協議会の担い手相談員や県担い手育成推進マネージャー <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島市担い手育成総合支援協議会の担い手相談員や県担い手育成推進マネージャーとの連携により、集落営農推進や新規就農相談、経営指導など専門業務を分担または、連携して行える。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 農協営農指導員や県普及指導員の巡回指導はこれまで以上に手薄になることが必至であり、人員の削減は考えられない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務は、予算執行のみである。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内の全農家が対象となっていることにより、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率性・公平性は、適切な事業である。有効性については、年間指導計画等、計画に基づく巡回指導の実施や重点指導農家やグループなどの的確な位置付けによる効率的で有効な指導の実践に当らせる必要がある。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 事務事業の削減と外勤活動の支援																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
設置目的の再認識と必要性の堅持。活動範囲が広域となることから、移動に相当な時間を要するため、事務所を分散した人員配置も検討する必要がある。																											

No.	520-300	事務事業名	畜産施設維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 霧島市家畜審査場の設置及び管理に関する条例 霧島市国分畜産研修センターの設置及び管理に関する条例	
	一般	0 6	0 1	0 4	83020	畜産施設維持管理事業		
					83080	しみん学習支援公社経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、畜産振興を図るため施設を設置している。また、地域住民のコミュニティ活動と憩いの場として、住民の交流と福祉向上に寄与する施設(家畜審査場、国分畜産研修センター)の施設維持管理に係る業務である。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 施設維持に係る光熱水費、施設の保険、指定管理委託料など		ア	費用額
			円
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 施設維持に係る光熱水費、施設の保険、指定管理委託料、修繕費		イ	修繕回数
			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 畜産研修施設		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	施設数
			箇所
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設が畜産農家にとって使用に最適な管理がされる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	苦情件数
			回
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	認定農業者数
			戸

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業内 財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円				10	
		一般財源	千円	2,727	597	2,642	2,424	
		事業費計(A)	千円	2,727	597	2,642	2,434	
活動指標		ア 円	2,727	597	2,642	2,437		
		イ 回	2	1	2	3		
		ウ						
対象指標		ア 箇所	5	5	5	5		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 回	5	2	2	2		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、畜産振興を図るため施設が設置された。また、地域住民のコミュニティ活動と憩いの場として、住民の交流にも活用されている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 共進会や研修会等を開催し、畜産農家の意識、技術も向上してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 畜産農家の方より畜産審査場の設置により、共進会、研修会等の開催が出来るので喜ばれている。	

事務事業名	畜産施設維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷		
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	520-310	事務事業名	縣市畜産共進会開催事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83090	畜産共進会出品補助事業		

<p>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</p> <p>霧島市主催の霧島市秋季畜産共進会は出品することにより飼育管理技術研修と資質の向上を図ることを目的とする。春・秋郡畜産共進会は霧島市の代表として選抜された牛を出品する。県畜産共進会は郡の代表として出品する。霧島市主催の霧島市秋季畜産共進会(一頭当たり5,000円)春・秋郡畜産共進会(一頭当たり20,000円)県畜産共進会(一頭当たり100,000円)へ出品するための輸送代等の経費として補助金を交付する。</p>	<p>事業期間</p> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)
---	---

1 現状把握の部(DO)

<p>(1) 事務事業の目的と指標</p> <p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動) 件数 342件 金額 4,480,000円</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動) 補助金件数 133件 金額 5,080,000円 報償費件数 295件 金額 895,000円</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 肉用牛農家、乳用牛農家</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 共進会に出品することで、飼育管理技術研修・畜産振興・生産素性を検討し、系統作りに役立ち、経営の安定に繋げる。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。</p>		<p>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補助交付農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 肉用牛・酪農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 出品頭数</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 補助交付農家	戸	イ		ウ		名称	単位	ア 肉用牛・酪農家	戸	イ		ウ		名称	単位	ア 出品頭数	頭	イ		ウ		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																	
ア 補助交付農家	戸																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 肉用牛・酪農家	戸																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 出品頭数	頭																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 認定農業者数	戸																																	
イ																																		
ウ																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,790	4,270	4,480	6,208		
	事業費計(A)	千円	3,790	4,270	4,480	6,208			
活動指標	ア 戸		280	261	342	342			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 戸		951	889	850	802			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 頭		312	290	295	280			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 戸		300	313	323	321			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 各共進会に出品することで飼育管理技術研修と資質向上を目指し、又、系統作りのため始まった。開始年度不明	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 飼育管理技術が向上し、共進会出品牛の資質向上が図られている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 各共進会が情報交換の場でもあり、継続して本事業を継続してほしい意見多数あり。(肉用牛農家)	

事務事業名	県市畜産共進会開催事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 飼育管理技術研修と家畜の資質の向上を図ることを目的とした、市・始良地区・県の各種共進会出品者に助成を行うことは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市・始良地区・県の各種共進会に出品助成を行うことは、肉用牛農家・乳用牛農家の飼育管理技術と資質向上に繋がるため妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 肉用牛農家・乳用牛農家が対象であって妥当である。意図は畜産農家の経営の安定であるため適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 系統作りに役立つ成果が上がるが、それ以上の成果向上はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 各種共進会に出品する肉用牛農家・乳用牛農家が減少し、飼育管理技術研修や家畜の資質向上が図られなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 各種共進会に出品するための必要経費(輸送代・燃料代)のため削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助交付事務のみであって、削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 全ての肉用牛農家・乳用牛農家が対象であって、公平である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下	/		
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			/																				
	低下	/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-320	事務事業名	パドック付ドーム型牛舎整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83017	パドック付ドーム型牛舎整備事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
家畜排せつの管理を適正にするために、パドック付ドーム型牛舎の整備費に係る経費への一部補助をする。 前提条件：整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼養することが確実なもの。パドック等を備えた構造のドーム型牛舎でコンクリート等を使用し、側壁を設け、屋根は、家畜排せつ物を乾燥しやすくするため採光のできる屋根材(ポリカーボネート等)を使用する。パドックの面積は1頭当たり10㎡以上とする。 補助金算定の考え方：補助金の額は、パドック1㎡当たり5,000円とし、交付限度額は150万とする。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
件数 8件		ア 補助交付農家 件	
金額 9,430,000円		イ 補助交付金額 千円	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
件数 6件		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
金額 9,000,000円		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		単位	
畜産農家(肉用牛繁殖)		ア 肉用牛農家 戸	
【補助交付先】パドック付ドーム型牛舎を建築する畜産農家		イ	
【補助対象活動】パドック付ドーム型牛舎の建築		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
環境保全農業の確立、労力の軽減、作業の効率化、生産性向上に繋げる。		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単位	
経営体質が強化される。		ア 整備面積 m ²	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数 戸	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	11,677	9,876	9,430	9,000		
	事業費計(A)	千円	11,677	9,876	9,430	9,000		
活動指標		ア 件	10	7	9	6		
		イ 千円	11,677	9,876	9,430	9,000		
		ウ						
対象指標		ア 戸	981	933	850	827		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア m ²	3,359	2,001	2,174	1,800		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
パドック付ドーム型牛舎を整備することにより、家畜糞尿の適正な処理をすることを目的に開始する。平成18年4月から事業開始	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
環境保全対策に役立ち、作業効率も省力化されることで、畜産農家の意識も非常に高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
パドック付ドーム型牛舎整備することにより、作業効率も省力化され、飼育管理も行き届くため、事業交付者から事業拡大の要望が多数寄せられている。	

事務事業名	パドック付ドーム型牛舎整備事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ パドック付ドーム型牛舎を整備することにより、環境保全対策を行うことで、作業能率も省力化され、経営の安定・合理化も図られるために、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ パドック付ドーム型牛舎を整備することで、作業能率も省力化され、経営の安定・合理化も図られる。低コスト化を推進しているため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 市内で畜産業に積極的に取り組み、整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼養することが確実な者を補助対象としているので妥当である。また、意図は、環境保全対策の確立、労力軽減、作業の効率化、生産性向上であるため適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ パドック付ドーム型牛舎を整備することで、作業能率も省力化され、経営の安定・合理化も図られる。低コスト化も図られるが、それ以上に成果向上の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 規模拡大をしようとする農家の決断が鈍る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 過去に事業実施した畜産農家との公平感から、補助単価等の削減はできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であって、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内で畜産業に積極的に取り組み、整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼養することが確実な者を補助対象としているので公平である。受益者負担の一部を補助するので、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な事業であり、現状維持とする。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	520-360	事務事業名	家畜導入及び保留補助事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83015	家畜導入及び保留補助事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
肉用牛経営の安定向上と主産地化を図るため、優良肉用牛を保留・導入する農家に対して補助金を交付する。 条件：5年以上継続飼養すること 地区共進会に出品すること。 算定基礎：郡保留牛又は高育種価候補牛に選定された牛(自家保留牛及びセリ市本人牛を含む。)20,000円導入牛はセリ価格500,000円を超えた分の2分の1(最高150,000円)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 補助交付金額 8,179,000円 保留頭数 215頭 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 補助交付金額 6,520千円 保留頭数 134頭		名称 ア 優良牛保留頭数 イ ウ	単位 頭
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 肉用牛農家 <補助金交付先> 始良中央家畜市場にて郡保留牛、高育種価候補牛を導入・保留した農家 <補助対象活動> 始良中央家畜市場での郡保留牛、高育種価候補牛を導入または保留		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 肉用牛農家 イ ウ	単位 戸
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 優良素牛を確保し経営の安定化		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 年度毎優良牛保留頭数 イ ウ	単位 頭
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 認定農業者数 イ ウ	単位 戸

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,085	8,383	8,179	6,520	
事業費計(A)		千円	6,085	8,383	8,179	6,520		
活動指標		ア 頭	157	187	215	134		
対象指標		ア 戸	981	933	850	827		
成果指標		ア 頭	8,010	8,044	8,203	8,250		
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
始良中央家畜市場の子牛せり市に上場される郡保留牛又は高育種価候補牛の郡外県外への流出を防ぎ、市内に優良素牛の確保を行う。また、改良増殖を行い、生産率の向上を図り主産地化を目指すために、事業を導入する。平成18年4月事業開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
毎年、優良素牛が市内に保留され、優秀な子牛生産、価格高の販売により、経営の安定に繋がっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
郡保留牛や高育種価候補牛を優良な素牛を導入できることで、今後も引き続き事業を継続してほしい。	

事務事業名	家畜導入及び保留補助事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	肉用牛経営の安定向上を図るため、優良肉用牛を保留・導入する農家に対して補助金を交付することは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	始良中央家畜市場の子牛せり市に上場される郡保留牛又は高育種価候補牛の郡外県外流出を防ぐため、又、優良素牛の確保で改良増殖を行い、生産率の向上を図るための補助金であり妥当である	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	肉用牛農家が対象、意図は優良素牛を確保し経営の安定化であって適切である	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	平成21年度から事業の事業対象牛の認定基準等が変わることから、市内に優良な素牛の明確化が図られることによって、成果向上が見込まれる。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	優良素牛の確保が困難になり、郡外県外流出が懸念される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	畜産農家の生産意欲、所得低下が懸念され、優良素牛の確保が困難になり、県内外への流出が予想されることより削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	平成20年度中に要綱改正を行い、事業に係る職員の事務を改善した。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	肉用牛農家全体が利用できる制度であることより公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	外因の改正ではあるが、保持対象牛の絞込みが行われ、今後事業成果が向上すると見込まれる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし
--

No.	520-361	事務事業名	畜産団体運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 6	0 1	0 4	83015	畜産団体育成補助事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
環境保全型農業の確立、コスト削減、作業の省力化、経営の安定と効率的経営を図るため各団体において、研修、講習会、視察研修等を実施するための活動への助成を行う。 国分地区肉用牛生産振興会 118,000円 福山地区肉用牛振興会 330,000円 溝辺町肉用牛改良組合 262,000円 霧島地区和牛改良組合 50,000円 霧島地区肥育牛部会 32,000円 霧島地区家畜商組合17,000円 霧島町肉用牛生産組合共同作業班 25,000円 横川町肉用牛振興会 165,000円 霧島市酪農振興会 119,000円 牧園町肉用牛部会 171,000円 牧園町家畜商組合 35,000円 隼人町肉用牛生産振興組合 72,000円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 各地区の肉用牛振興会は、21年5月で合併、肥育牛振興会は21年4月に合併したことで、対象団体は3団体となる。 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 畜産農家(肉用牛・酪農) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業の省力化、経営の安定と効率的経営を図る。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 補助交付団体</td> <td>団体数</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 肉用牛・酪農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 事業参加農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ 研修回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 補助交付団体	団体数	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 肉用牛・酪農家	戸	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 事業参加農家	戸	イ 研修回数	回	ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 補助交付団体	団体数																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 肉用牛・酪農家	戸																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 事業参加農家	戸																																								
イ 研修回数	回																																								
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 認定農業者数	戸																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,426	1,405	1,396	1,397	
	事業費計(A)	千円	1,426	1,405	1,396	1,397		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,426	1,405	1,396	1,397		
活動指標	ア	団体数	16	15	13	3		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	戸	951	889	868	850		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	戸	951	889	868	850		
	イ	回	45	45	45	45		
	ウ							
上位成果指標	ア	戸	300	313	323	321		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業の省力化、経営の安定と効率的経営を図るため各種の団体へ補助することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
関係する地域団体に全員の加入があることより、連携はもとより、環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業効率の省力化、経営の安定と効率的経営を図るさまざまな活動に参加し、畜産振興の高揚に繋がっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
各団体への補助により、さまざまな活動が実施できており、継続して実施してほしい。	

事務事業名	畜産団体運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・公平性は適切な事業である。類似団体の統合によるスリム化と事務事業の改善により効率性は改善できる。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 振興会組織の統一(H21年度)による、事業内容等の見直し。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 組織の統一に伴い広範囲での取り組みとなるため、事業内容、開催場所の検討等の課題がある。																						

No.	520-370	事務事業名	家畜導入資金貸付事業(基金管理事業)				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	01	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	04	83077	基金繰出		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
畜産振興と経営の安定に資するために家畜導入資金を無利子で貸付けるための事業基金の運営を行う。 基金事業の貸付条件等は、評価シート畜産導入貸付事業に記載。 貸付を実行する基金の管理であって、基金の運用利子及び合併前の体制で行っていた事業収入等を財源とし、基金の積立を行っている。(財源は、運用利子を特定財源として計上し、事業収入は一般財源として扱うが、積立ての原資として扱っている。) 年度毎に事業ニーズをつかみ、平成19年度には農山漁村活性化対策基金を取り崩し、本基金の増額も図った。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア	貸付けを受けた農家件数
貸付け件数 94件			件
貸付け金額 41,225,712円		イ	貸し付けた金額
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	千円
貸付け件数 70件			
貸付け金額 30,000千円			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
家畜を継続して飼養することが確実な満20歳以上の者。		名称	
		ア	肉用牛・酪農家
		イ	戸
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
優良素牛を確保し経営の安定化		名称	
		ア	貸付け頭数
		イ	頭
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		ア	認定農業者数
		イ	戸
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	159	243	97	28		
		一般財源	千円	5,236	50,304	701	350		
	事業費計(A)	千円	5,395	50,547	798	378			
活動指標		ア 件	60	42	50	50			
		イ 千円	41,515	27,051	41,226	30,000			
		ウ							
対象指標		ア 戸	951	889	845	802			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 頭	86	56	94	70			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年度から、優良素牛の確保を行い経営の安定化を図るため開始された事業基金の管理を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
導入希望者が増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業を活用し規模拡大、優良素牛の確保が出来るので喜ばれている。(肉用牛農家・酪農家)	

事務事業名	家畜導入資金貸付事業(基金管理事業)	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 肉用牛と乳用牛の振興と経営の安定に資するために、家畜導入資金を貸し付ける基金事業の管理を行うことは政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 事業として優良素牛の確保、経営の安定化を図ることが出来るので妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 肉用牛農家・乳用牛農家を対象としているので妥当である。また、意図は優良素牛の確保、経営の安定化であって適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 資金の貸付により、優良素牛家畜の導入がなされ、優秀な子畜の生産・販売ができるとともに、無利息のため農家の負担が軽減される成果のみである。 基金が適正規模であることを条件としており、現時点では適正規模を確保できている。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 農家の自己資金による導入は、規模拡大、優良素牛の確保等おこなうには、資金調達等厳しい現状にあることから、導入に影響がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 農協の貸付け制度	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 基金事業であって、適正規模の確保ができれば継続できる事業であること、また、農家のニーズが増加していることから基金額の削減は出来ない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 基金管理業務のみであることから削減余地はない。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 肉用牛・乳用牛農家が利用できる制度であり返済することが義務となっている事業であるので公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状を維持する。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	520-400	事務事業名	子牛出荷支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83015	子牛出荷支援事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
肉用牛ヘルパー組合と協定を締結した農家へ補助金を交付することにより、畜産農家の高齢化・婦女子化が進む中で子牛出荷に伴う軽減を図る。牛の名義人で65歳以上の輸送手段のない者又は婦女子に運搬にかかる輸送費の一部を助成する。助成額は出荷する牛1頭1回に2,000円とする。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
肉用牛ヘルパー組合に加入している運搬者に交付する。 運搬件数 1,167件 交付金額 2,334千円		ア	ヘルパー組合への交付件数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	ヘルパー組合への交付金額
肉用牛ヘルパー組合に加入している運搬者に交付する。 運搬件数 1,200件 交付金額 2,400千円		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
牛の名義人で65歳以上の輸送手段のない者又は婦女子		名称	
		単位	
		ア	65歳以上の農家と婦女子
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
畜産振興のため、輸送手段を持たない、高齢者や婦女子に、畜産経営の維持を図る。		名称	
		単位	
		ア	運搬頭数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア	認定農業者数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	2,450	2,300	2,334	2,400			
	事業費計(A)	千円	2,450	2,300	2,334	2,400			
活動指標	ア	件	1,255	1,150	1,167	1,200			
	イ	円	2,450	2,300	2,334	2,400			
	ウ								
対象指標	ア	戸	651	622	622	622			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	頭	1,255	1,150	1,167	1,200			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	戸	300	313	323	321			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
輸送手段を持たない、高齢者や婦女子に助成することで活力ある畜産経営の維持を図る。18年4月開始	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
高齢者や婦女子の方々が、ヘルパー組合の活用により、子牛出荷に係る運搬車や労力の面で、継続して畜産経営に取り組むことが出来るので喜ばれている。	

事務事業名	子牛出荷支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 高齢者や婦女子に助成することは、子牛出荷に係る運搬手段や労力の面で、安心、継続して畜産経営に取り組むことが出来ているので政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 畜産農家の高齢者や婦女子に助成することで、子牛出荷に係る運搬車や労力の面で、安心、継続して畜産経営に取り組むことが出来るので妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、牛の名義人で65歳以上の輸送手段を持たない者、又は、婦女子に助成するので適切である。また、意図は、畜産振興のため、畜産経営の維持を図ることより適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? この事業を継続することで、廃業減少の成果が上がるが、それ以上の向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 輸送手段を持たない、高齢者や婦女子は、継続して畜産経営が出来なくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 輸送手段を持たない、高齢者や婦女子は、子牛出荷に係る運搬車や労力の面で、安心して、また、継続して畜産経営に安易に取り組むことが出来なくなることより削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 事務処理手続きのみであって、業務の削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 畜産業を営む全ての、高齢者や婦女子が対象であること、また、費用の一部を助成するものであることより、公平・公正である	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状を維持する。																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-410	事務 事業名	畜産基盤再編総合整備事業				所属部	農林水産部	
							所属課	農政畜産課	
政策 体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり			課長名	富永 克義	
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	畜産グループ	
	基本事業名	0	1	農林業経営体への支援			電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠		
	一般	0	6	0	1	0	4	83095	畜産基盤再編総合整備事業

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
飼料生産基盤の整備と農業用施設整備を一体的に実施することにより、新たな畜産主産地の形成に地域ぐるみで取り組み飼料生産基盤に立脚した担い手の育成を図る。 事業主体は(財)鹿児島県地域振興公社 事業内容は、飼料畑造成、畜舎整備、堆肥舎整備、農機具導入 事業費の内訳 国50% 県22.5%						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 19 年度 ~ H 23 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 畜舎整備3棟、飼料畑造成改良1.38ha、家畜排泄物処理施設1箇所 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 畜舎整備3棟、飼料畑造成改良2.86ha、鳥獣害防止施設整備1,481m、家畜排泄物処理施設2箇所、飼料庫整備1棟、農機具導入4台 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 低未利用地造成による飼料畑確保を行い、自給率の向上を図る農家。(造成面積0.3ha以上) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 低未利用地等が造成・整備による飼料基盤の拡大や施設の整備を実施することにより、自給飼料を活用した安心・安全な畜産物の供給、飼料自給率の向上、生産コストとの低減を図る。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 負担金額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ (財)鹿児島県地域振興公社の事業費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ 事業対象農家</td> <td>件</td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 畜産農家(肉用牛・酪農)</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 事業達成率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 負担金額	千円	イ (財)鹿児島県地域振興公社の事業費	千円	ウ 事業対象農家	件	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 畜産農家(肉用牛・酪農)	戸	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 事業達成率	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 負担金額	千円																																								
イ (財)鹿児島県地域振興公社の事業費	千円																																								
ウ 事業対象農家	件																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 畜産農家(肉用牛・酪農)	戸																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 事業達成率	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 認定農業者数	戸																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)				
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	190	272	435			
		地方債	千円						
		その他	千円	10,545	30,750	47,867			
	一般財源	千円		273	435				
	事業費計(A)	千円	10,735	31,295	48,737				
人件費	正規職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,735	31,295	48,737				
活動指標	ア	千円	10,545	30,750	47,867				
	イ	千円	27,486	79,642	144,966				
	ウ	件	6	5	5				
対象指標	ア	戸	933	871	827				
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	7.20	28.20	56.50				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	戸	313	314	321				
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
畜産経営体の規模拡大が進展するなか、自給飼料を活用した安心・安全な畜産物の供給、飼料自給率の向上、生産コストの低減を図ることが必要となり、低未利用地等の造成・整備による飼料基盤の拡大や施設の整備を実施する。平成19~23年度	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
19年度からの事業開始である。霧島市、財団法人鹿児島県地域振興公社、事業実施者との三者契約となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業実施者から、19年度から始まった事業が計画に従い実施、整備されていくので有難いとの声が上がっている。	

事務事業名	畜産基盤再編総合整備事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 低未利用地等を造成・整備し、自給飼料を活用した安心・安全な畜産物の供給、飼料自給率の向上、生産コストの低減等を目指すことは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 国・県が採択して実施する事業であることから妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 採択時に対象が適切かは国、県が判断されている。意図は生産基盤に立脚した担い手の育成であるため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業終了年度が23年度となっていることより向上の余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 国の事業への影響がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 国・県の補助事業のため事業費の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 事務処理手続き等を見直すことができれば、業務時間については削減できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 国が定める受給者負担であり、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・有効性・公平性は適切な事業である。補助金事務手続きの改善ができれば、さらに効率をあげる事ができる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 補助金事務手続きの改善が必要																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事業の効率性を高めるためには、市の補助金申請から支出に至るまでの事務手続きの改善が必要である。

No.	520-420	事務事業名	畜産経営活性化資金利子補給事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 4	83090	畜産経営活性化資金利子補給事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
大家畜経営活性化資金利子補給2件 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱に基づき借受者に対して利子補給を行い農家の資金調達を容易にする。 平成17年度～24年度まで 隼人町で畜産経営を営む2件の農家。累計額20～24年度45,712円 国県の事業に則した事業を行うもので、を市は0.12%を負担する義務がある。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 17 年度 ~ H 24 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と内容は同じ 金額15,462円		ア	利子補給額
			円
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
平成20年度と同様 金額12,282円		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
交付者 肉用牛農家		名称	
対象 大家畜経営活性化資金の借入に係る利子		単位	
		ア	肉用牛農家
			戸
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金の融資を受けやすくするため、利子の一部を補助。		名称	
		単位	
		ア	融資農家
			戸
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア	認定農業者数
			戸

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	22	19	16	13	
事業費計(A)		千円	22	19	16	13		
活動指標		ア 円	21,699	18,560	15,462	12,282		
対象指標		ア 戸	981	933	871	827		
成果指標		ア 戸	2	2	2	2		
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国県の制度の事業実施に伴い17年度より利子補給を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	畜産経営活性化資金利子補給事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金を融資(利子補給)することにより、農業経営の安定が図られており、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金を融資(利子補給)することにより、農業経営の安定が図られているので妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市内の肉用牛農家であれば事業を実施できることより、対象としては適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 補助目低異常の成果向上の余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 融資機関との契約等、国県の制度上利子補給を廃止することは出来ない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 融資機関との契約で貸付金に対するの利子補給を実施していることより削減できない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 国・県の制度に関連した事業であり、業務の削減は出来ない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 国・県・市・借受者ともそれぞれ業務の分担がされており公平・公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業で現状を維持する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	520-440	事務事業名	乳用牛優良精液導入事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠
	一般	0 6	0 1	0 4	83015	乳用牛優良精液導入事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
優良乳用牛の確保及び改良増殖を図るため、優良精液を導入し、優良雌牛造成を積極的に行う酪農家に対し、予算の範囲内で補助を行う。 補助金算定基準： 精液料金4,000円未満は対象外とする。 補助金頭数は年間150頭とし、生産牛1頭当たり2,000円とする。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 酪農家に実施 精液導入農家件数 14戸 予算執行金額 300,000円 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 事業概要と同様 精液導入件数 18戸 予算執行金額 300,000円 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 酪農家 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 優良乳用牛の改善増殖を図り、優秀な雌牛造成を行うことで優良な乳用牛を確保してもらう。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 体質が強化される		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>補助を導入した酪農家</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>酪農家</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>実施頭数</td><td>頭</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>認定農業者数</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	ア	補助を導入した酪農家	戸	イ			ウ			対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	酪農家	戸	イ			ウ			成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	実施頭数	頭	イ			ウ			上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	認定農業者数	戸	イ			ウ		
名称		単位																																																	
ア	補助を導入した酪農家	戸																																																	
イ																																																			
ウ																																																			
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位																																																	
ア	酪農家	戸																																																	
イ																																																			
ウ																																																			
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位																																																	
ア	実施頭数	頭																																																	
イ																																																			
ウ																																																			
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位																																																	
ア	認定農業者数	戸																																																	
イ																																																			
ウ																																																			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	165	226	300	300		
	事業費計(A)	千円	165	226	300	300			
	活動指標	ア 戸	6	14	14	18			
		イ							
		ウ							
	対象指標	ア 戸	8	18	18	18			
		イ							
		ウ							
	成果指標	ア 頭	65	113	150	150			
		イ							
		ウ							
	上位成果指標	ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 生乳価格が低迷する厳しい環境の中で、平成18年度から乳用牛の改良増殖を図り乳量増、個体強化等を行うため優良精液を導入することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 生乳価格が低迷する中で、生産者を取り巻く状況は石油や飼料の高騰により、コストが上がっており厳しい現状にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 乳用牛の改良増殖が図られ乳量増、個体強化等に繋がっており、今後も事業を継続の要望が畜産農家からある。	

事務事業名	乳用牛優良精液導入事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	530-260	事務事業名	しいたけ生産組織育成事業			所属部	農林水産部
						所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援			電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 2	0 2	91090	林業振興費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
しいたけ産業の振興を促進するため、生産量の増大と品質の向上、原木の需要安定を図るため、活動資金の一部について助成、また貸付を実施する。 補助団体 霧島市しいたけ生産振興会		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 48 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) しいたけ生産振興会補助金 (65千円)		ア	しいたけ生産振興会補助団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) しいたけ生産振興会補助金 (60千円)		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) しいたけ生産振興会補助金 (60千円)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 しいたけ生産振興会員(しいたけ生産者) <交付先> しいたけ生産振興会 <対象活動> 運営費		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	しいたけ生産振興会会員数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) しいたけ生産量の増大		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	しいたけの生産量(乾しいたけ)
		イ	しいたけの生産量(生しいたけ)
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	経営体が施業を実施した面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	54	70	65	60	
	事業費計(A)	千円	54	70	65	60		
活動指標		ア 団体	3	4	1	1		
対象指標		ア 人	35	35	25	25		
成果指標		ア Kg	13,333	12,638	12,425	12,990		
		イ Kg	61,211	50,777	41,923	57,329		
上位成果指標		ア ha	567	548	556	583		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和48年に生産者の技術向上、生産性向上、経営の安定を目的として開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 中国産の輸入等による価格低迷、生産者の高齢化等により生産戸数は減少しているが、県の認証を受けるなど高品質等技術向上に努めている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 生産振興会員から貸付金制度の改善を求める声がある。	

事務事業名	しいたけ生産組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 特用林産物生産組織を支援し、経営体の強化を図ることで、政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 特用林産物生産組織の育成は林産業の振興を図るのに必要があるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象はしいたけ生産振興会員であり、意図は生産量の増大であるため農林水産業の振興に適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 運営補助であって、事業目的以外の成果向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 研修会や現地検討会等の機会が減少する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 運営費補助であるので事業対象を明確化するなどし、組織が軌道に乗った時点で削減するのは可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行が主な作業となるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会は、生産者組織に加入することによってあるため、公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	組織運営が軌道に乗った場合については、事業費の削減を検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 補助対象経費の洗い出しを行い、補助事業のスリム化を行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 加入者相互の関係を深めながら自主的な活動を支援していく。補助事業の削減については組織での違和感が発生することとなる。経費区分等を行い十分な説明を行うことで解消したい。

No.	530-280	事務事業名	森林整備地域活動支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 2	0 5	94040	森林整備地域活動支援事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
木材価格の低迷やコストの増大等による森林所有者の経営意欲の低下、また林業従事者の減少・高齢化により林業生産活動が停滞しており、森林施業が的確に実施されにくい状況となっている。 そのため、森林施業計画に基づく協定を締結した山林にhaあたり5,000円、今後施業計画に組み込む山林にhaあたり15,000円の交付金を交付し、山林の現況調査や作業路等の補修を行い、森林施業の推進を図る。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 14 年度 ~ H 23 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
森林整備地域活動支援交付金		ア	支援交付金交付団体
協定締結数 82		イ	
森林情報の収集活動 20 施業実施区域の明確化作業 62		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
森林整備地域活動支援交付金		名称	
協定締結 82		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	協定締結数
森林整備協定締結者(団体)		イ	支援事業対象森林面積
森林施業計画対象区域内の森林		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
間伐等森林整備が進む		名称	
		単位	
		ア	支援交付金交付団体
		イ	森林施業計画面積
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
体質が強化される		名称	
		単位	
		ア	経営体が施業を実施した面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	60,297	36,860	36,266	36,372	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	20,559	12,877	12,089	12,714	
		事業費計(A)	千円	80,856	49,737	48,355	49,086	
活動指標		ア 団体		5	5	5	6	
対象指標		ア 協定		114	66	82	66	
		イ ha		7,940	9,216	9,351	9,370	
成果指標		ア 団体		5	5	5	6	
		イ ha		11,871	12,068	15,817	12,100	
上位成果指標		ア ha		567	548	434	583	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成14年度より国がこの事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 14年度から18年度までは支援事業対象面積に対し10,000円/ha交付していたが、平成19年度より事業の内容により15,000円/ha、5,000円/haと分けて交付するようになった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に要望・意見等は寄せられていない。	

事務事業名	森林整備地域活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 当事業により森林施業がすすみ、森林整備が図られ、その結果経営体の体質が強化される。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 国の事業であり、公共関与は妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 国、県の実施要領に基づき事業を行っているため適切である。
有効性評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 森林整備の重要性を所有者に理解してもらい、森林施業計画への登載に同意をもらうよう、森林づくり推進員活動等も積極的に利用することにより、成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 現在木材価格が低迷しており、廃止すれば森林所有者の負担が増えるため、施業面積が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 国、県の実施要領に基づき事業を行っており、類似事業もないため統廃合・連携は難しい。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 負担割合が決められており、事業費を削減するのは困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 交付金の支払に伴う事務が大半であり業務時間削減は難しい。
公平性評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ この事業は森林組合を通じて山林所有者への補助(施業前の森林現況調査や作業路開設等)を行う事業であり公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年木材価格が低迷している中、本事業等の効果から森林整備への関心が高まりつつあり比較的間伐や造林が進んでいる。一方で、森林所有者から森林整備に関しての同意が得られず放置された森林も存在しているため、森林整備のみならず森林保全の重要性の啓発を行い、森林整備を積極的に進めることで事業の有効性を高める。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> この事業により森林所有者の意識が高まり森林保全が進んでいるが、一部には放置林等も存在するため、保全・管理等を適切に実施するため、森林整備計画において要間伐森林(早急を実施する必要があるもの)を指定し、森林の所在、間伐の実施時期等を規定し施業実施したい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 森林整備にあまり関心のない森林所有者(不在村地主等)の森林は、施業の同意が得られずに放置林となっている。今後森林整備を進める上で不在村地主等への施業の推進を図る等の対策が重要である。

No.	530-290	事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	6	0	2	0	2	91015 鳥獣被害防除・捕獲対策事業外	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
近年、野生鳥獣による農作物の被害が恒常的に発生しているため、被害等の状況を的確に把握するとともにその被害防止策を図る。 捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を指示し、農産物へ被害を及ぼす有害鳥獣捕獲を速やかに行い被害の軽減に努めている。(捕獲報償金を支払う)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 44 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 有害鳥獣駆除報償金の交付(イノシシほか 1,024頭(羽), 4,858千円) 捕獲隊への運営費補助(4団体, 503千円)		名称 ア 捕獲計画頭(羽)数 単位 頭(羽)	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 被害件数 単位 件	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農林水産物		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 指示件数 単位 件	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 有害鳥獣による農林水産物の被害を防止する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 経営体が施業を実施した面積 単位 ha	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	687	431	528	534	
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	5,027	4,336	5,951	4,677		
	事業費計(A)	千円	5,714	4,767	6,479	5,211		
活動指標		ア 頭(羽)	5,100	4,100	4,450	4,500		
対象指標		ア 件	190	181	215	200		
成果指標		ア 件	86	108	84	90		
上位成果指標		ア ha	567	548	434	583		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 鳥獣による農林産物への被害を軽減するため昭和44年から実施が始まった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律が平成20年に施行され、被害防止対策が強化された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 農・林家から被害防止対策の強化を要望される。	

事務事業名	鳥獣被害防除・捕獲対策事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 鳥獣被害防除・捕獲することが農林業経営体への支援となっているので結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 被害は市内全域に及ぶため、公共で行うべきである。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は農林水産物であり妥当である。意図については有害鳥獣による被害の防止なので妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 体制の再編・強化を図ることで効率的な事業を推進できる。(捕獲隊の統合)	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 有害鳥獣による農林水産物への被害が拡大する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 電気柵設置補助事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 捕獲実施にあたっては、銃器、罟ともに銃砲用火薬類や道具代などの経費がかかり、その一部を報償費で賄っているため、捕獲報償費の削減は捕獲隊の協力、同意が得られない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 支所単位での事務(被害調査, 捕獲指示等)の統一化を図り、効率的な事務事業を行う。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 全ての農林水産物に対応しているため公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	捕獲隊員の高齢化、減少により捕獲隊の維持が困難な地区があり、十分な捕獲の成果が出ない状況である。今後、組織の再編等を検討し、有効性・効率性の改善に努める。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 捕獲隊の体制の再編(捕獲隊の統合)・強化を図ることで有効な捕獲ができる。また、事務の統一化を図り効率的な事務事業行う。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旧市町村単位で捕獲隊があり、それぞれの体制に差異があるため統合に向け協議を進める。(一部統合済)																										

No.	530-310	事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業					所属部	農林水産部
								所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり					課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興					所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援					電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	0 6	0 2	0 2	91090	林業振興費			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
林業従事者の就労条件の改善(社会保険制度等加入促進、退職金制度加入促進、就労奨励)を図るため、(財)鹿児島県林業担い手基金、森林組合、林業従事者で行う林業就労改善推進活動費へ補助金を交付する。 県が認定する認定事業体の負担すべき社会保障1/2分を1/3ずつ基金・森林組合・市で負担する事業である。 なおここでいう林業従事者とは年間就労日数150日以上のもので、主に造林、保育、伐採及び作業路の開設等に従事している者をいう。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 3 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
補助金交付 (千円、人)		ア	補助金額
19年度計画(19年度に計画している主な活動)		イ	交付対象従事者
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
林業従事者		名称	
< 補助金交付先 > 森林組合		ア	林業従事者数
< 補助対象活動 > 林業就労改善推進		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
林業従事者の就労条件の改善がなされる。		名称	
林業従事者の増加を図る。指標は就労日数150以上の交付対象の数を増加させる。		ア	社会保険等加入対象従事者
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ	退職金制度加入対象従事者
経営体質が強化される		ウ	就労奨励事業対象従事者
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	経営体が施業を実施した面積
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,321	6,340	4,968	7,159	
	事業費計(A)	千円	6,321	6,340	4,968	7,159		
活動指標	ア	千円	6,321	6,340	4,968	6,000		
	イ	人	135	137	123	137		
	ウ							
対象指標	ア	人	135	137	123	137		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	38	40	38	40		
	イ	人	38	40	47	40		
	ウ	人	38	36	37	40		
上位成果指標	ア	ha	567	548	434	583		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成3年度から林業従事者の就労条件の改善による労働力の確保を目的として開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	林業就労改善推進活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 林業従事者の就労条件の改善がなされれば、林業経営の体質が強化されるため結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 林業経営が厳しい中、労働力の確保には就労条件(身分保障)の改善が必要であり、林業振興を行う必要、施行面積の増加を図る必要があるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 林業従事者を対象としているため、その就労条件を改善することは意図として適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 上位組織補助制度であって、補助事業の改善等はできないため、市で成果を向上させることはできない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 認定事業体の負担が増加するため、社会保障等の費用が増加し、経営を圧迫する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 木材価格の上昇の見込みがないため、林業従事者の就労条件の改善が見込めず削減余地がない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金交付事務であるため削減する部分がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 上位組織補助制度であって、受益機会は公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	530-440	事務事業名	林業施設維持管理事業				所属部	農林水産部	
							所属課	林務水産課	
政策体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0	1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	0	6	0	2	0	1	90010 林業施設維持管理事業	
	一般	0	6	0	2	0	2	90085 指定管理者経費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
林業施設の維持管理(電気・ガス・水道代、施設の保険、修繕料)を行う。 【管理施設名】 維持管理:川原地区加工貯蔵施設、福山食の交流館、黒石岳森林公園、丸岡公園 保険料:多目的研修集会所(川原、塚脇、清水)、松ヶ野地区林業集会施設、溝辺竹子集会センター、 林構事業機械保管倉庫(鐘突)、川原地区加工貯蔵施設、福山食の交流館、黒石岳森林公園、丸岡公園							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 林業施設の維持管理費の支払い。 光熱水費、修繕料、保険料		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ア 林業施設維持管理費	
前年度と同様。		千円	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		イ	
林業施設。		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
施設の適性かつ円滑な管理。		名称	
		単位	
		ア 林業施設数	
		箇所	
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 施設を利用した方からの苦情件数	
		件	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 経営体が施業を実施した面積	
		ha	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,342	8,701	9,591	11,246	
事業費計(A)		千円	7,342	8,701	9,591	11,246		
活動指標		千円	156	80	227	207		
対象指標		箇所	10	10	10	10		
成果指標		件	1	2	0	1		
上位成果指標		ha	567	548	556	583		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
林業施設については市の所有であり、施設に関わる維持管理(電気・ガス・水道代及び修繕・保険料)を市で行う。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
林業施設の維持管理については特に変化がない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
施設運営の管理を委託している住民等から、高齢で管理が難しいとの意見が寄せられている。	

事務事業名	林業施設維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 生産を行う基盤が整っており林産物等の加工をできる施設であって、経営体の強化を図れる施設の管理であって施策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市所有の施設であり、市が管理することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 林業施設を適性かつ円滑に管理している。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 利用者及び施設運営委託者からの意見を取り入れ、現状よりもさらに利用しやすい環境をつくれれば成果を向上させる余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 施設の老朽化が進み、管理できない状況になる可能性がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 適性かつ円滑に管理する必要から、市の維持管理費は必要最低限の経費であり、これ以上の削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 維持管理費の予算執行事務が主であり、これ以上の削減の余地はない。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 施設については市民が使える環境にあり、そこに対し維持管理することについては不公平は生じない。また、施設利用者からは使用料などを徴収するので受益者負担についても公平・公正であると考える。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現状よりもさらに利用しやすい環境をつくるために運営の仕方などを工夫し、効率性の確保とともに効果の向上を検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
< 改革改善案 > 施設運営委託者と利用促進等について協議を行い、利用者の苦情・要望等に対応できる体制をつくる。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
運営努力により利用改善の可能性が有るかの確に判断し、活用方法を利用者と協議する必要がある。

No.	540-030	事務事業名	土地改良区運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	管理グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般	0 6	0 1	0 5	84090	事業名	農地費
	法令根拠							

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

土地改良区(十三塚原土地改良区・竹子土地改良区・宮内原土地改良区・福山町土地改良区)に運営費補助として補助金を交付している。
(市の活動)土地改良区に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。
(土地改良区の活動)農業用施設の維持管理、賦課金の徴収
*土地改良区とは、土地改良法に基づき設置された団体で、土地改良区内に農地を保有する農家を組合員として構成される。

事業期間

 単年度のみ
 単年度繰返
↳ (S 50 年度 ~)
 期間限定複数年度
↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 補助金交付団体数	団体
事務事業の概要と同じ (十三塚原土地改良区5,465・竹子土地改良区3,515・隼人町宮内原土地改良区764・福山町土地改良区2,375)	⇒	イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
土地改良区の組合員	⇒	ア 組合員数	人
(補助金交付先)土地改良区		イ	
(補助対象活動)土地改良区の運営に関する経費		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
組合員(農家)の賦課金が軽減される。	⇒	名称	単位
		ア 歳入予算に対する賦課金の割合	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。	⇒	名称	単位
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	12,759	12,759	12,119	12,119	
	事業費計(A)	千円	12,759	12,759	12,119	12,119		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,759	12,759	12,119	12,119		
活動指標	ア	団体	4	4	4	4		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	2,175	2,175	4,207	4,207		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	30	29	28	28		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	戸	300	313	323	321		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
主に大規模な事業(圃場整備事業、かんがい事業)が導入され、維持管理の部門が必要となったため。土地改良区の整備に関しては、国・県・市そして受益者負担によって行われた。4改良区に関しては施設の規模が大きく、また維持管理を行っている区域内には一部市の道路等を含むことから補助金を交付することとなった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
事業の完成から年月が経ち、施設の老朽化並びに管理者の高齢化に伴い以前より管理に苦慮している。平成19年4月1日県からの権限委譲により、土地改良区に対する指導権限が市に移譲された。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
受益者(区域内の農地所有者)からは、できるだけ改良区の賦課金を上げずに安定した用水が確保できるよう要望されている。用排水路には住宅からの排水が流れ込むために水質が悪化、有機農法を取り入れられない等農産物の品質に影響があるとの意見もある。

事務事業名	土地改良区運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下								
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													

No.	1340-030	事務 事業名	農業委員会定例総会・専門部会関係事務				所属部	農業委員会事務局
							所属課	農業委員会事務局
政策 体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	西山 幹夫
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	振興グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	法令 根拠	農業委員会等に関する法律第6条,第21条,霧島市農業委員会会議規則,霧島市農業委員会専門部会規程	
	一般	0 6	0 1	0 1	80090			事業名

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
農地法関連の申請書に基づき、総会にて受理、許可・不許可の意見決定や審議を行う。毎月一回、専門部会と定例総会(農地Gで3条・4条・5条申請等の許認可申請を受け付け後に議案書作成を行う。)の開催通知を作成し、農業委員へ送付。専門部会等の資料等の作成。定例総会の議事録作成。県農業会議常任委員会議への諮問、許可書の発行、農業委員研修の手配。農業委員報酬等の支払事務。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 32 年度 ~)	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業概要に同じ。		ア	専門部会の回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様。		イ	定例総会の回数
			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市内の農地		ウ	受付・審査件数
			件
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農地法に基づいた農地の有効利用が図られる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	霧島市内の耕地面積
		イ	
		ウ	
			ha
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質強化が強化される。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	不許可件数
		イ	
		ウ	
			件
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	認定農業者数
		イ	
		ウ	
			世帯

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入 量	事業 費	財源内訳	千円	9,340	9,040	8,543	8,260		
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	78,810	76,666	90,876	87,905			
	事業費計(A)	千円	88,150	85,706	99,419	96,165			
活動指標		ア	回	12	12	12	12		
		イ	回	12	12	12	12		
		ウ	件	1,648	1,709	1,493	1,500		
対象指標		ア	ha	6,500	6,450	6,450	6,450		
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	件	3	7	0	2		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	世帯	300	313	323	321		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 優良農地を守り、農家の農業生産力を増進するため、農地等の利用関係の調整を図るため昭和32年から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農地法3条申請市外居住者の所有権移転申請の県許可分及び2ha以下の農地法4条5条の規定による農地の転用及び移転の許可権限及び無断転用等に対する指導が平成21年4月より県から移譲され、市で当月内に許可が出せるようになっていた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 権限移譲された事により、許可までの日数が約1ヶ月短縮されており、喜ばれている。	

事務事業名	農業委員会定例総会・専門部会関係事務	所属部	農業委員会事務局	所属課	農業委員会事務局
-------	--------------------	-----	----------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷		
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1340-040	事務事業名	農業者年金事務				所属部	農業委員会事務局					
							所属課	農業委員会事務局					
政策体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり			課長名	西山 幹夫					
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	振興グループ					
	基本事業名	0	1	農林漁業経営体への支援			電話番号	45-5111					
予算科目	会計	一般	0	6	0	1	0	1	80010	事業名	農業者年金事務事業	法令根拠	独立行政法人農業者年金基金法, 同 基金法施行令, 同 基金法施行規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
年金の加入普及推進と適切な年金受給の推進を図る。また、農業者年金の受給者で任意の組織をつくり、会員相互の親睦を図ることを目的に活動し、その受給者会の事務を農業委員会事務局で行っている。 農業者年金制度 受給方法等の相談・基金に受給書類等の提出・年金証書交付・現況届受理・基金に報告・台帳管理・加入促進等										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 46 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同じ		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア 新制度の加入者数	
		人	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ 広報誌やパンフの作成及び配布	
		部	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・20歳以上60歳未満の国民年金に加入する農業従事者 ・農業者年金受給者		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 20歳以上60歳未満の国民年金に加入する農業従事者	
		人	
		イ 農業者年金受給者会員数	
		人	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・農業者年金に加入してもらう ・会員相互で交流できる		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 農業者年金への新規加入者	
		人	
		イ 農業者年金受給者会員数	
		人	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		人	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	1,500	1,335	1,700	1,400		
		一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	1,500	1,335	1,700	1,400			
活動指標		ア 人	1	4	10	4			
		イ 部	4,500	2,650	4,500	4,500			
		ウ	5	5	6	4			
対象指標		ア 人			355	355			
		イ 人	904	812	760	718			
		ウ							
成果指標		ア 人	1	4	10	1			
		イ 人	904	812	760	718			
		ウ							
上位成果指標		ア 人	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 農業者年金制度は、昭和46年から「農業者にもサラリーマンなみの老後保障の年金を」との農業者からの要望がなされ発足した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成13年までの農業者年金は、賦課方式であり、受給者に比べて加入者が減少したことに伴い、年金財政が悪化したため、平成14年1月1日から、積み立て方式の新農業者年金制度に移行した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 旧制度の不信感のもと、国民年金問題で将来支払われるか不安を抱いている方が多く、新農業者年金制度は積み立て方式でまた、年齢や青色申告などの条件が合えば政策支援も受けられる利点等について、広く理解を得るための研修会等を開いて広報して欲しいとの要望がある。	

事務事業名	農業者年金事務	所属部	農業委員会事務局	所属課	農業委員会事務局
-------	---------	-----	----------	-----	----------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 農業従事者が農業者年金への加入をすることで将来の生活安定を図り、安心して農業に専念できる環境を整えることから政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 農業者年金基金法にもとづく事務であり妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象を農業者年金の対象者とし、加入促進を意図していることから、対象・意図それぞれ法に基づくものであって妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 農業者年金への新規加入については年々厳しい状況であり、成果の向上余地としてはない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 法律に基づく継続して行わなければならない事務業であるため廃止できない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、年金基金からの受託金で運用されているので削減できない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) JAからの書類確認審査や基金への書類提出、新規加入者の相談事務や経営移譲年金受給予定者への指導等最低限の事務事業なので削減できない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 農業者で加入しようとする者全てが対象となるため公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な事務事業であって、現状維持とする。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	530-050	事務事業名	海面環境保全事業				所属部	農林水産部		
							所属課	林務水産課		
政策体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり			課長名	山下 晃		
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	水産G		
	基本事業名	0	2	生産基盤の整備			電話番号	45-5111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	6	0	3	0	2	96010	水産業振興事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
福山町漁協が海面に浮遊する軽石、流木等の除去処理事業に係る費用の一部を助成している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 59 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	福山港内・沖海岸清掃	ア 海面環境保全事業	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	福山港内・沖海岸清掃	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	海面漁業者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	漁業被害の軽減	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	効率的な生産を行なう基盤が整う	名称	単位
		ア 清掃作業の参加者	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 安全に安心して漁場を運行する漁船	船
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 放流した稚魚の数	万尾
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	180	160	152	136	
事業費計(A)		千円	180	160	152	136		
活動指標	ア	回	2	2	2	2		
対象指標	ア	人	15	15	15	15		
成果指標	ア	船	54	54	54	54		
上位成果指標	ア	万尾	40.2	40.5	40.5	40.5		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
県の桜島軽石等除去事業で実施されていたが、打ち切り予算となった。しかしながら、漁業関係者の強い要望により単独補助とした。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
台風時期等の浮遊物除去により被害解消及び海岸周辺がきれいになった。(漁業関係者、周辺住民)	

事務事業名	海面環境保全事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 錦江湾クリーンアップ作戦	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他事業との連携を行うことで事業費の削減を行い、成果水準を維持する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 錦江湾クリーンアップ作戦との連携事業として実施を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
他事業との連携が可能であるかが課題である。

No.	530-330	事務事業名	天降川漁協運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
堰等により遡上できない鮎を上流から放流することにより天降川水系の資源の維持増殖に努める。 繁殖保護費 2,019,000円中 市補助金 427,000円 4月に2回稚鮎放流(20年度実績)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		ア	補助金交付団体数
			単位
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	放流回数
			単位
			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
内水面漁業者 (交付先)天降川漁業協同組合 (対象活動)稚鮎の放流事業		名称	
		単位	
		ア	海面漁業者数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 天降川水系に生息する鮎の維持増殖		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	鮎放流数量
			kg
結果(どんな結果に結び付けるのか) 稚魚の放流を行い、水産資源の維持・培養を図る。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	放流した稚魚の数
			万尾

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	500	450	427	427		
事業費計(A)		千円	500	450	427	427			
活動指標		ア 団体	1	1	1	1			
		イ 回	1	2	2	2			
		ウ							
対象指標		ア 人	41	34	34	34			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア kg	200	100	100	100			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成10年から九電の堰が出来たことにより、鮎の遡上が少なくなったことがきっかけである。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 5年前と比べると鮎の数は激減しており、鮎漁の存続も難しい状況である。原因は特定できないが海の沿岸で生活する際のプランクトン数の減少が原因ではないかとされている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 天降川水系の維持のためにもこの事業を続けてほしい。(天降川漁業協同組合)	

事務事業名	天降川漁協運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 稚魚の放流を行う事によって天降川水系の資源の維持増殖に努めているので、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 稚魚の放流事業により市民が利用する天降川水系の資源の維持増殖が図るため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は天降川漁協、意図は天降川水系の資源の維持増殖であるため妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上に成果を向上させることはできない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 稚魚放流を中止することにより、鮎の遡上が少なくなり資源の維持増殖が難しくなり、また漁獲高が減少する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 他に類似事業はない。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の殆どは放流鮎購入費の経費であり、削減は難しい。 (鮎購入費1,309,000円・補助事業費427,000円)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 内水面漁協への補助事業は本事業のみであって、他の漁協とのバランスは取れていない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業補助等への移行を検討し、不公平感を取り除くことが求められる。しかし、事業費が増加する可能性がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<改革改善案> コストを維持しながら、他組織との公平感を保つ事業への移行を行う。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
現在の補助金交付団体の理解が得られるかが課題となる。 事業対象を明確化し、事業補助としての事業内容の改善を行う。

No.	530-340	事務事業名	漁業資源繁殖施設整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
アオリイカ、コウイカ等の産卵場所の少ない福山地区の沖合いにイカ柴を投入しアオリイカ、コウイカの産卵魚礁を形成し、イカの増産育成に努め漁業の生産安定を図る。 福山沖の小廻、南圃、大廻沖合い30メートルのところにイカ柴60本を投入する。 H20年度 はタコツボ産卵魚礁実施 補助割合:市 約1/2							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
福山沖の小廻、南圃、大廻沖合い30メートルのところにプラスチック製のタコつぼを7月初旬約600個投入。		ア	補助金交付団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	投入回数(年度内)
福山沖の小廻、大廻沖合い30メートルのところにイカ柴60本を投入する。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
海面漁業者		名称	
(交付先)福山町漁協		単位	
(対象活動)イカ柴の投入事業		ア	海面漁業者数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	
漁業者の経営安定		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
効率的な生産を行なう基盤が整う		名称	
		単位	
		ア	イカ芝入数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	放流した稚魚の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	220	200	190	190	
事業費計(A)		千円	220	200	190	190		
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
		イ 回	1	1	1	1		
		ウ						
対象指標		ア 人	128	128	128	128		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 個	60		600	60		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
福山町沖はタコ等の産卵場所が少ないためイカの産卵魚礁を形成するためにイカ柴を投入し、イカの増産育成に努めたいとの地元漁協からの要望により開始 開始年・・・平成17年	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
水質資源の枯渇や燃油等経費増など漁業を取り巻く状況は年々厳しくなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	漁業資源繁殖施設整備事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	他漁業協同組合について、部会等への補助を行っている団体なく、公平であるとはいえない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 漁協の合併等を進行するかを見極め、補助事業のあり方から検討を行い、事業の拡大・縮小を決定する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
漁協の合併等がうまくいかなかった課題である。 事業拡大については、前提条件として合併が必要であるため、状況の把握と支援を行う。

No.	530-350	事務事業名	漁業資源放流支援事業(ヒラメ放流事業)				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 3	0 1	95090	水産業総務費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
ヒラメの放流を行うことにより、資源の維持増殖に努めると共に漁獲の向上を図り、地区漁民の生産を高め生活の安定を図る。 5月～6月にかけて、栽培漁業センターよりヒラメの種苗7,000尾を陸上輸送し、地区毎に漁船に積み込み、国分敷根沖、広瀬沖、隼人町浜之市沖、小浜沖に等分に放流する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
19年度は種苗の育ちが悪く、種苗数が足りず、事業は実施出来なかった。		ア	補助金交付団体数
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	放流回数
概要と同様		ウ	回
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
海面漁業者		名称	
(交付先) 錦江漁協		単位	
(対象活動) 種苗の放流事業		ア	海面漁業者数
		イ	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
漁業者の経営安定		名称	
		単位	
		ア	霧島市漁獲高
		イ	t
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
効率的な生産を行なう基盤が整う		名称	
		単位	
		ア	放流した稚魚の数
		イ	万尾
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	320	0	273	273		
	事業費計(A)	千円	320	0	273	273			
活動指標		ア 団体	1	1	1	1			
		イ 回	1	1	1	1			
		ウ							
対象指標		ア 人	142	142	142	142			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア t	426	465	465	465			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため。平成18年度から実施	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 燃油高騰、漁業者の高齢化など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなってきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 水産資源の枯渇を防ぐためにも放流事業等を今後も続けてほしい。	

事務事業名	漁業資源放流支援事業(ヒラメ放流事業)	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 稚魚の放流を行う事によって漁業者の経営安定が図られ、結果政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は漁協、意図は漁業者の経営安定であるため妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上の成果向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 稚魚放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の殆どは必要経費であり、削減は難しい。 (補助273,000円:事業経費種苗代等723,000円)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 人件費は予算執行事務と放流の立会いのみであり、削減余地がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? その稚魚は錦江湾の漁場に放流され、受益者は全ての漁業者であるため適正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	530-351		事務 事業名	漁業資源放流支援事業(豊かな海づくり広域連携事業)				所属部	農林水産部	
								所属課	林務水産課	
政策 体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃	
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	水産G	
	基本事業名	0	2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名		法令 根拠		
	一般	0	6	0	3	0	2		96010	水産業振興費
		一般	0	6	0	3	0	1	95090	水産業総務費

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 海面漁業者による放流を行う事業の経費について、一部補助を行う。
 【事業主体】福山町漁協・錦江漁協 【放流種苗】ヒラメ・マダイ
 平成20年度 福山町漁協 ヒラメ種苗・・・3,300尾、マダイ種苗・・・29,400尾
 錦江漁協 ヒラメ種苗・・・3,300尾、マダイ種苗・・・29,400尾
 平成21年度 福山町漁協 ヒラメ種苗・・・3,300尾、マダイ種苗・・・29,400尾
 錦江漁協 ヒラメ種苗・・・3,300尾、マダイ種苗・・・29,400尾予定

事業期間
 単年度のみ
 単年度繰返
 ↳ (H 8 年度 ~)
 期間限定複数年度
 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様		名称	単位
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア 補助金交付団体数	団体
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 海面漁業者 (交付先)福山町漁協・錦江漁協 (対象活動)種苗の放流事業		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 漁業者の経営安定		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行なう基盤が整う		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 海面漁業者数	人
		イ 放流回数	回
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 霧島市漁獲高	t
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 放流した稚魚の数	万尾
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	225	205	194	194		
	事業費計(A)	千円	225	205	194	194		
活動指標	ア 団体	2	2	2	2			
対象指標	ア 人	272	270	270	270			
	イ 回	4	4	4	4			
成果指標	ア t	426	465	465	465			
上位成果指標	ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 開始時期・・・平成8年度 年々資源が枯渇していく湾奥の水資源の維持や増大を図るため。
 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?
 湾奥に位置する漁場の為水質の悪化、漁業者の高齢化、漁業資源の減少、燃料費等の高騰に伴い、漁業者を取り巻く環境は厳しい。
 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 漁業を取り巻く環境が悪化しているため、放流事業は継続してほしい。(地元漁協)

事務事業名	漁業資源放流支援事業(豊かな海づくり 広域連携事業)	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-------------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 稚魚を放流する事によって漁協の経営安定につながり効率的な生産を行なう基盤が整うので政策に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 種苗の放流事業により漁業者の経営安定を図ることができ、霧島市に隣接する湾奥の活性化にもつながることから妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 漁場や湾奥の活性化は漁協だけでなく、それを利用する一般市民も対象にしているのが妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 事業目的以上の成果向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 稚魚放流を中止することにより、湾内の資源の維持培養が難しくなり、また漁獲高が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 今後漁協が合併し、放流時に係る事務費等(船や車の借り上げ等)を共有できれば、わずかではあるが事業費の削減につながる可能性がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 人件費は予算執行業務と立会いのみであるので、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業費を支給するのは各漁協であるが、その稚魚は公共の漁場に放流されるため、受益者は漁業者のみでなく、遊漁者等広く市民となる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	各漁協と連携、協力し事業費は維持しながら事業費の削減を図りたい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 今後関係機関と密に連携をとることによってコストを削減し、成果を上げられるように事業に取り組んでいく。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						

No.	530-360	事務事業名	錦江漁協青壮年部活動支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
							課長名	山下 晃
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				所属G(係)	水産G
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				電話番号	45-5111
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備					
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
		一般	0 6	0 3	0 2	96010	水産業振興費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
錦江漁協青壮年部活動費補助・・・漁協の青年部が主となりイカ産卵礁の設置、漁業の研修会、海岸等の清掃等の活動費の一部を補助する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 4 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)							
(1) 事務事業の目的と指標							
手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
20年度実績(20年度に行った主な活動)		名称		単位			
錦江漁協青壮年部・先進地研修、県振興大会出席、港清掃、港祭り		ア 補助交付団体数		団体			
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ					
前年度と同様		ウ					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)					
漁協の青壮年部		名称		単位			
(交付先)錦江漁協青壮年部		ア 漁協青壮年部員数		人			
(対象活動)繁殖保護事業、港の清掃等		イ 漁港などの漁業環境		箇所			
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
青壮年部の活動を活性化させる。		名称		単位			
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ア 霧島市漁獲高		t			
効率的な生産を行なう基盤が整う。		イ					
		ウ					
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)					
		名称		単位			
		ア 放流した稚魚の数		万尾			
		イ					
		ウ					

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	60	54	51	51	
事業費計(A)		千円	60	54	51	51		
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
対象指標		ア 人	9	9	9	9		
		イ 箇所	3	3	3	3		
成果指標		ア t	426	465	465	465		
上位成果指標		ア 万尾	40.2	40.5	40.5	40.5		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等							
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?							
青壮年部独自の活動を強化し年々資源が枯渇していく湾奥の水産資源の維持増殖を図るため平成4年度から実施している。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?							
燃油高騰、漁業者の高齢化など水産業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。							
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							
近年活動が活発になり積極的に夕市など色々な事業をおこなうようになってきたので、この事業を続けてほしい。(錦江漁協、青壮年部)							

事務事業名	錦江漁協青壮年部活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	他漁業協同組合について、部会等への補助を行っている団体なく、公平であるとはいえない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 漁協の合併等を進行するかを見極め、補助事業のあり方から検討を行い、事業の拡大・縮小を決定する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事業内容の抜本的な改善が必要。研修費補助等の事業に対する事業補助への移行を行う。

No.	530-510	事務事業名	林道等維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	林務水産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	山下 晃
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	林務グループ
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
		一般	0 6	0 2	0 3	92045	林道等維持補修事業	林道管理条例

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市が管理している林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全を図ることにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る。 森林施業の管理などで林道を利用する際にパトロールを兼ねて林道の現状を確認の上、必要と判断された場所について補修工事などを委託等により実施。除草については、シルバー人材センターに委託。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 23 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 林道等の修繕、林道敷払い事業委託、重機借り上げ、工事請負、原材料支給		ア 林道等の修繕箇所数	
		イ 敷払いを行った林道延長	
		ウ 保守点検を行った路線数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 林道等の修繕、林道敷払い事業委託、重機借り上げ、工事請負、原材料支給		単位	
		箇所	
		m	
		路線	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 既設の霧島市が管理する林道(93路線)等 林道利用者(施業者・一般利用者)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア 市が管理する林道の路線数	
		イ 市が管理する林道の実延長	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 通行しやすい状態となる。(枝や下草、崩土などの障害物がない状態)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア 林道の利用に関する苦情件数	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行うための基盤が整う。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア 林業生産基盤(林道)の整備率	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	17,918	15,370	15,355	15,900	
		事業費計(A)	千円	17,918	15,370	15,355	15,900	
活動指標		ア 箇所	52	49	37	60		
		イ m	73,712	92,772	74,480	187,045		
		ウ 路線	94	94	93	93		
対象指標		ア 路線	94	94	93	93		
		イ m	182,200	186,886	187,045	187,045		
		ウ						
成果指標		ア 件	15	18	14	10		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア m/ha	5.4	5.5	5.7	5.8		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
林道は森林管理を図るうえで重要な社会基盤であるため、市(及び県)が昭和23年頃から整備を進めてきており、その維持管理を行う事業として本事業が開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
林道の舗装がされるようになり、施業に利用する人だけでなく、集落間の移動に利用する人が増えたため、生活路線へと変化してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
生活路線としての意味合いが出てきたため、一般利用者から安全対策等の強化が望む要望が寄せられている。	

事務事業名	林道等維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	林務水産課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 林道及び作業道等の維持補修工事、除草、保守点検などを行うことで、林道の機能維持や安全確保が図られ、それにより森林整備の推進が図られるため結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 林道の修繕管理は市の役割であるため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 林道は木材の搬出、森林保全管理のための重要な基盤であり、対象及び意図は適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 林道の機能及び安全の維持が目的であるため、向上の余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 森林整備の停滞、奥地集落の衰退につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業が存在しない。	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市道認定など、土木課等と連携を取って、事業費の削減を図っている。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 通常の管理事務については職員で対応しているが、草払い等の業務については委託を行っており、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 事業内容は林道の維持管理であって、受益者は市民、その他の人々である。よって、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	540-110	事務事業名	土地改良区償還金軽減事業			所属部	農林水産部		
		政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			所属課	耕地課	
		施策名	0 1	農・林・水産業の振興			課長名	馬場 義光	
		基本事業名	0 2	生産基盤の整備			所属G(係)	管理グループ	
								電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 6	0 1	0 5	84090	農地費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
十三塚原土地改良区(畑総事業)、福山土地改良区(特殊農地保全事業)で行った事業について、地元負担金(旧町分担金と農家負担金)を土地改良区が全額借入し、年賦償還している。改良区の円滑な運営と受益者の負担を軽減するために、償還金補助を支払っている。改良区が、補助金申請を行い交付決定後支払い、金融機関へ期日までに支払う。 償還金補助金額 19年度 43,662,971円(十三塚原改良区) 9,181,285円(福山町土地改良区) 20年度 30,756,119円(十三塚原改良区) 9,181,285円(福山町土地改良区) 21年度 23,398,654円(十三塚原改良区) 5,129,465円(福山町土地改良区)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (S 50 年度 ~ H 22 年度)	

1 現状把握の部(DO)																			
(1) 事務事業の目的と指標																			
手段(主な活動)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																
20年度実績(20年度に行った主な活動)			<table border="1"> <tr><td colspan="2">名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア</td><td>補助金交付団体数</td><td>団体</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	補助金交付団体数	団体	イ			ウ		
名称		単位																	
ア	補助金交付団体数	団体																	
イ																			
ウ																			
21年度計画(21年度に計画している主な活動)			<table border="1"> <tr><td colspan="2">名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア</td><td>組合数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>受益面積</td><td>ha</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	組合数	人	イ	受益面積	ha	ウ		
名称		単位																	
ア	組合数	人																	
イ	受益面積	ha																	
ウ																			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			<table border="1"> <tr><td colspan="2">名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア</td><td>組合数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>受益面積</td><td>ha</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	組合数	人	イ	受益面積	ha	ウ		
名称		単位																	
ア	組合数	人																	
イ	受益面積	ha																	
ウ																			
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			<table border="1"> <tr><td colspan="2">名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア</td><td>負担金の徴収率</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	負担金の徴収率	%	イ			ウ		
名称		単位																	
ア	負担金の徴収率	%																	
イ																			
ウ																			
結果(どんな結果に結び付けるのか)			<table border="1"> <tr><td colspan="2">名称</td><td>単位</td></tr> <tr><td>ア</td><td>農業生産基盤の整備率</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	農業生産基盤の整備率	%	イ			ウ		
名称		単位																	
ア	農業生産基盤の整備率	%																	
イ																			
ウ																			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円		63,232	52,845	39,938	28,529		
事業費計(A)	千円		63,232	52,845	39,938	28,529			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等							
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?							
県営事業の実施で多額の地元負担金(町分担金と農家負担金)を土地改良区が全額借り入れ、農林公庫に償還することとなったため、十三塚原土地改良区は昭和50年から、福山町土地改良区は昭和61年から開始された。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?							
特に変化なし。							
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							
特に変化なし。							

事務事業名	土地改良区償還金軽減事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 受益者負担を軽減することで土地改良区の安定を図ることは、効率的な生産基盤を整えることを支援することであるため、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 改良区が借入を行った農林漁業資金借入金には、本来支払うべき旧町分担金を含むため、市が補助するのは妥当。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 償還金補助は旧町(溝辺町、隼人町、福山町)の継続事業であるため、妥当。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 借入した事業自体は既に終了しており、償還年次表に基づいて年賦償還しているため。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 借入金の償還金額は各市町及び県・農家分担金の合算であるため、支払が滞る恐れがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 償還計画を立てて支払いを行っているため、これ以上の削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 償還補助申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な最低限の人件費である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 基盤整備事業に対する償還金補助であり、受益者である農家は公平に利益を受けている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	協議に基づく年賦償還のため妥当と考える。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													

No.	540-200	事務事業名	中山間ふるさと水と土保全基金管理事業	所属部	農林水産部			
				所属課	耕地課			
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課長名	馬場 義光			
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	管理グループ			
	基本事業名	0 2	生産基盤の整備	電話番号	45-5111			
予算科目	会計 一般	款 0 6	項 0 1	目 0 5	事業 84077	事業名 基金積立金	法令 根拠	霧島市中山間ふるさと・水と土保全基金条例

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
中山間地域で土地改良施設(農道及び用排水路等)の機能を適正に発揮していくための集落共同活動を支援するため、基金を設立。基金を運用しそれから生まれる利益で、清掃活動や環境保全の研修等の経費や基金運用に必要な経費に充てる。 基金の額は、7,000万円である。 [中山間地域]とは山間地及びその周辺の地域の地理的条件が悪く、農業の生産条件が不利な地域。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 5 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動) 活動を支援していくだけの収益がなく活動はできなかった。なお20年度の運用益は、424,290円である。	⇒	ア 活動回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様。		イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 集落共同活動団体 農地	⇒	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 団体数	団体
		イ 農地面積	ha
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業用施設の能力が適正に発揮される。 市民等の環境保全に対する意識を高める。	⇒	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 活動参加人員	人
		イ 対象農地面積	ha
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行う基盤が整う。	⇒	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 農業生産基盤の整備率	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円				216	
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	0	0	0	216	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	216	
活動指標	ア	回	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	団体	未把握	未把握	未把握	未把握		
	イ	ha	8,732	8,513	8,454	8,400		
	ウ							
成果指標	ア	人	0	0	0	0		
	イ	ha	0	0	0	0		
	ウ							
上位成果指標	ア	%	50.3	50.3	51.2	50.8		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 土地改良施設(農道及び用排水路)の機能を適正に発揮させるための集落共同活動を支援するため、設置された。旧市町で設置時期が異なるが、平成5、6年からである。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 低金利状態が長く続いたため財源が確保できず、運用益があがらなくなった。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	中山間ふるさと水と土保全基金管理事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	細やかな手入れにより農業用施設の機能が適正に発揮され、効果的な生産を行うことができ生産基盤の機能確保されることから政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	耕作放棄地の増加や農業従事者の高齢化により農業用施設の保全・維持管理が難しくなっており、市が支援することは妥当。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	中山間地域において耕作放棄地や高齢化が顕著であるため対象・意図については妥当。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	今後の金利動向により共同活動への支援が出来るだけの運用益があがるかどうか不明であるので、現在においては成果向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	今後益々高齢化が進むにつれて、集落の維持管理が難しくなるため必要な事業と思われる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 農地・水環境保全向上事業対策事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	すでに現在の基金の運用益が少ないため、削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	現在は活動支援を行うだけの運用益がないため、主に経理的な事務に係る人件費のみである。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	地域指定内であれば受益機会は公平にある。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	基金造成時の金利動向と現時点の状況は大きく変化し、運用益による成果は見いだせない。しかし現状維持しながら活用策を見いだして行きたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td></td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲		▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲		▲																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	540-210	事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	耕地グループ
	基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	06	85035	農業・農村活性化推進施設等整備事業	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 通常の補助事業(国庫補助)の採択要件に合わない小規模な事業を県からの補助(事業費45%)を受け農業用施設の改良や補修を行う事業。 採択要件: 上限4,000万円、受益面積5ha(中山間地域は1ha) 農道整備の場合延長:100m以上幅員3m	事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)
---	---

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) かんがい排水 2地区 21年度計画(21年度に計画している主な活動) かんがい排水 1地区 農道 1地区 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 改良に要する農業用施設(農道・用排水路ほか) 農家 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業用施設の機能改善が図られる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行う基盤が整う。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 整備した農業用施設の数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 整備された農業用施設に対する受益面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 農業用施設</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 農業施設の受益者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 農業用施設の整備された事業量</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 農業生産基盤の整備率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 整備した農業用施設の数	件	イ 整備された農業用施設に対する受益面積	ha	ウ		名称	単位	ア 農業用施設	件	イ 農業施設の受益者数	人	ウ		名称	単位	ア 農業用施設の整備された事業量	m	イ		ウ		名称	単位	ア 農業生産基盤の整備率	%	イ		ウ	
名称	単位																																
ア 整備した農業用施設の数	件																																
イ 整備された農業用施設に対する受益面積	ha																																
ウ																																	
名称	単位																																
ア 農業用施設	件																																
イ 農業施設の受益者数	人																																
ウ																																	
名称	単位																																
ア 農業用施設の整備された事業量	m																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 農業生産基盤の整備率	%																																
イ																																	
ウ																																	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	24,975	7,830	16,785	9,945	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	31,636	9,570	20,515	12,165	
		事業費計(A)	千円	56,611	17,400	37,300	22,110	
トータルコスト(A)+(B)		千円	56,611	17,400	37,300	22,110		
活動指標	ア	件	9	4	2	2		
	イ	ha	48	13	38	10		
	ウ							
対象指標	ア	件	未把握	未把握	未把握	未把握		
	イ	人	5,889	5,889	5,889	5,889		
	ウ							
成果指標	ア	m	1,304	650	96	570		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	50.3	50.3	51.2	50.8		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 小規模地区における農業生産の向上を図るとともに、農村の活性化に資するために県が独自に補助事業を設け、この事業を活用することで市の財政負担の軽減を図りながら生産基盤の整備を行うために開始した。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 県の財政悪化に伴い、採択地区数が減ってきている、また、農地と住宅地の混住化が進み、生産基盤整備はもとより生活環境整備に伴う施設整備が増えてきている。 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価		担当課長記入欄	
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 改良を必要とする農業用施設の機能改善が図られることで、効果的な生産を行うことができ、生産基盤の機能が確保されることから、政策体系に結びつく。		
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農業用施設は市が保有する施設であり、維持管理や補修等を市が行うのは妥当。(市民(=消費者)が安心安全な農産物の提供を受ける為に農業を守る必要がある。)		
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 県の財政悪化に伴い事業採択率が低下しており対象を拡充することは困難である。		
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? <input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 設計基準に則り、かつ補助事業で認められた範囲内で計画し、事業実施している。		
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? <input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 農業用施設の機能改善に係る費用を市単独で負担することになり、市の財政負担が大きくなる。		
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? <input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ それぞれの事務事業の採択基準が異なることから事業規模に応じて事業を使い分けしているため、統廃合できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 公共事業として、適切に積算されコスト縮減対策も加味された事業であるので削減の余地はない。		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) <input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務手続き及び工事に伴う設計施工管理のすべてを最低人員で行っており、また県の補助事業であることや先の業務を正職員以外の職員等では対応できない。但し、設計に関しては委託を一部行っている。		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 要望箇所及び施設の老朽化の著しい箇所等で市全体の緊急順位を勘案し県への事業採択要望を行っている。		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	要望の次年度に事業実施ができる事業として重宝されていたが、県の財政事情から状況が変化している。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下		
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	540-250	事務事業名	農道・用排水路整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	耕地課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	馬場 義光
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	耕地グループ
	基本事業名	02	生産基盤の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	06	85090	農道及び用排水路整備事業	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
農業農村の生活、生産基盤である農道及び用排水路等の農業用施設の維持管理を行う。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 修繕料 156件 委託料 34件 使用料85件 工事箇所 13箇所 原材料 111件		ア	農業用施設の維持管理箇所数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度同様に修繕・委託等執行し維持管理に努める。		イ	維持管理される施設の受益者数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農業用施設 市民		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業用施設の機能保全 利用者の安全確保		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	農業用施設の修繕等要望箇所数
		イ	市民(人口)
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効率的な生産を行う基盤が整う。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	修繕等対応箇所数/修繕等の要望箇所数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	農業生産基盤の整備率
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	104,744	74,584	103,026	90,479		
		事業費計(A)	千円	104,744	74,584	103,026	90,479		
トータルコスト(A)+(B)		千円	104,744	74,584	103,026	90,479			
活動指標	ア	箇所	380	390	399	420			
	イ	人	5,889	5,889	5,889	5,889			
	ウ								
対象指標	ア	箇所	420	420	420	440			
	イ	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	ウ								
成果指標	ア	%	90	93	95	92			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	50.3	50.3	51.2	50.8			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 農業経営の安定を図るために生産基盤整備を行った施設について、維持管理を行い、また補助事業に採択されない小規模な農業用施設について改良・改修等事業を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農地の生産基盤としての農業用施設の維持管理より、生活基盤としての施設の維持管理が増えている。また、市の財政の悪化に伴い事業実施が困難となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業実施の要望が多く寄せられている。	

事務事業名	農道・用排水路整備事業	所属部	農林水産部	所属課	耕地課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	改良や改善を必要とする農業用施設の機能が維持されることで、効果的な生産を行うことができ、生産基盤の機能が確保されることから、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	農業用施設は、市が保有する施設であり、修繕・補修等を市で行うのは妥当。(市民(=消費者)が安心安全な農産物の提供を受けるために農業を守る必要がある。)	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	市の財政悪化に伴い事業費が減少しており、これ以上対象を拡充することは困難である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	要望箇所の優先順位を決め、予算の範囲内で事業実施している。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	農家の負担が大きくなり、安定的な営農ができなくなるおそれがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	最小限の費用で事業を行っており削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	苦情処理や要望への対応、さらに事業の設計や事業費の積算は、正規職員以外では対応できない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	要望箇所及び施設の老朽化等を勘案して緊急順位を決め事業を実施しているので、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農家等の理解のもと事業を峻別し、計画的に実施、効果を出している。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-140	事務事業名	集落営農活動支援事業				所属部	農林水産部
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				所属課	農政畜産課
	施策名	01	農・林・水産業の振興				課長名	富永 克義
	基本事業名	03	集落営農の推進				所属G(係)	農政G
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	03	82060	集落営農育成活動支援事業	特になし	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
農業従事者の高齢化・後継者不足は年々増加し、担い手のいない農村では農地の荒廃が進行している。集落営農を行うことで、労働力の補完及び低コスト化が図られ「集落の農地は集落で守る」という機運を高めるとともに、集落の話し合いを活性化させることで、住民の意思合意を図り、地域の実状にあった集落営農の組織化を推進する。 * H19年度までの県単事業を引き継ぐ形で実施 集落座談会、方針検討会の開催、研修会の実施							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 20 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動) ・集落座談会、方針検討会の開催:10回 ・研修会の実施:1回
21年度計画(21年度に計画している主な活動) ・検討会開催:10回 ・研修会の実施:2回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 集落(自治会組織) 農業者数 農地
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 集落単位等で組織化(労働力の補完や生産コスト低減化)について合意され、営農がなされる。
結果(どんな結果に結び付けるのか) 集団化により営農規模を維持・拡大する。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 集落座談会の開催回数	回
イ アンケート調査件数	件
ウ 研修会開催回数	回
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 集落	集落
イ 農業者数	人
ウ 耕地面積	ha
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 集落営農合意形成地区数	地区
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 集落営農数	団体
イ 集落営農面積	ha
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業内訳	財源	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	400	224				
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	410	234	100	120		
事業費計(A)	千円	810	458	100	120				
活動指標		ア 回	8	2	10	4			
		イ 件	533	230	0	0			
		ウ 回	6	3	1	2			
対象指標		ア 集落	533	257	257	257			
		イ 人	5,892	5,892	5,889	5,889			
		ウ ha	6,500	6,450	6,450	6,450			
成果指標		ア 地区	0	0	1	1			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 団体	4	4	8	9			
		イ ha	22.3	22.3	22.3	102			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成17年に新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されたことに伴い、一定要件を満たす担い手(認定農業者及び集落営農組織)へ施策が集中・重点化されることになっており、本市では平成18年度より集落営農育成活動支援事業(県単事業)を導入し、集落営農の組織化に向けた取組を行っている。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
近年、限界集落と呼ばれる集落が増化傾向にある。国における農業施策は、一定要件を満たす担い手へ集中・重点化されるため、小規模農家については集落営農参加しなければ、支援等を受けられない。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
集落からは、集落営農の必要性は理解しているが、組織作りや中長期的な問題をクリアすることが困難であるとの意見がある。

事務事業名	集落営農活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	高齡化や後継者不足が進行する集落の農家が組織化(労働力の補完や生産コスト低減化)について合意し、連携して営農することで経営体質が強化されることに結びつく。																						
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	本市の農業・農村の維持・発展が目的であるため、市及び関係機関が一体となって事業に取り組む必要がある。																						
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	市内全域を対象としており、意図については妥当、意図は合意形成地区の増としているため妥当である。																						
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	より多くの集落が組織化に取り組めるよう支援体制の強化を図り、毎年1地区の集落営農合意形成を目指す。																						
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	霧島市担い手育成総合支援協議会が行う、担い手アクションサポート事業に移行している。																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 担い手アクションサポート事業	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	担い手アクションサポート事業に必要な予算化が可能であれば削減余地がある。																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	霧島市担い手育成総合支援協議会に設置している総合窓口相談員及び、各総合支所の担当職員が連携して事務を行っており、これ以上の削減余地はない。																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	受益機会は全てにあるため適切。																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	担い手アクションサポート事業へ統合し事業実施する。																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	520-490	事務事業名	農業機械銀行運営支援事業				所属部	農林水産部		
							所属課	農政畜産課		
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義		
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ		
	基本事業名	0 3	集落営農の推進				電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般	0 6	0 1	0 3	82045	事業名	農業振興助成事業(市単独)	法令根拠	市補助金交付要綱

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
主として作業用農機にかかるコストを抑制し農業経営の安定化・農業機械の効率的な利用を図ることを目的に設立・運営されている各農業機械銀行等の組織の運営に対し、補助金を交付する。 (対象) 霧島市農業機械銀行・牧園地区農業管理センター・横川農業機械士会 (活動) 農作業(耕起・代かき・収穫)受託 (補助金額) 平成19年度323千円 平成20年度275千円 平成21年度248千円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 59 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事業概要と同様		ア 補助金交付団体数	
		団体	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
農家(オペレーター)		名称	
<補助金交付先> 霧島市農業機械銀行・牧園地区農業管理センター・横川農業機械士会 <補助対象活動> 受託事業(耕起・代かき・収穫)人材確保・機械の保有		単位	
		ア 農家(オペレーター)数	
		戸	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
低コスト化(受託が増加することにより農業機械の購入などコストが軽減される)受託件数を増加させる。		名称	
		単位	
		ア 現年度受託件数/前年度受託件数	
		%	
		イ 作業委託面積	
		ha	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
集団化による営農規模の維持・拡大する。		名称	
		単位	
		ア 集落営農数	
		団体	
		イ 集落営面積	
		ha	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	401	323	275	248		
	事業費計(A)	千円	401	323	275	248			
活動指標		ア 団体	3	3	2	2			
対象指標		ア 戸	34	35	35	42			
成果指標		ア %	84	100	100	105			
		イ ha	185	186	186	200			
上位成果指標		ア 団体	4	4	4	9			
		イ ha	22.3	22.3	22.3	102			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国分農業機械銀行は昭和59年、牧園地区農業管理センターは平成3年、横川農業機械士会は昭和62年に発足し同時期にそれぞれ組織育成補助を開始したと思われる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
国分農業機械銀行については大規模耕作者への集約等の理由から受託面積は減少傾向にある。 牧園地区農業管理センターについては高齢化等により受託面積が増加傾向にある。なお横川機械士会は、特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事務局をもつJAでは、機械の老朽化に伴い修理代等がかさんでいるなどの声がある。	

事務事業名	農業機械銀行運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農業機械銀行の運営は、受委託作業料等により適切に運営されており、継続的な補助金支給は検討すべきであるが、高額な機械の更新等、必要に応じた支援策を検討すべきである。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 運営方針の再検討を行い、繰越金の使途など検討することで事業費を削減することができる。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旧市町を活動範囲としてそれぞれ設立されているため、機械の所有台数やオペレーターの人数が不足しており、合併後直ちに活動を市内全域に広げることが困難である。組織を一本化し、各地域に支部を設置する体制が取れば、公平な機械利用及び広く小規模農家の委託作業に対応できる。																	

No.	520-510	事務 事業名	農業後継者等育成就農支援事業					所属部	農林水産部
								所属課	農政畜産課
政策 体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり					課長名	富永 克義
	施策名	01	農・林・水産業の振興					所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	04	農林業の新規就労(就農)の支援					電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	農業後継者等育成就農支援事業助成金交付規則	
	一般	06	01	03	82045	農業振興助成(市単独)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
新規就農の促進や定着化を図るとともに、優れた農業後継者を育成し、市農業の振興に寄与することを目的に、受入農家と市で1/2ずつ負担し、助成金を交付する。 【交付対象】市の交付規則に基づき、就農計画を認定された認定就農者(新規参加者、新規学卒就農者、Uターン者等、農業後継者) (交付条件)本市に居住し、農業以外の他産業並みの農業所得を確保し得る中核的農業専従者となり得ると見込まれる者 農業者年金に加入資格を有する者(あつては、加入する者 就農時の年齢が55歳未満の者で、かつ、就農意欲が高いと市長が認めるもの)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)																	
(1) 事務事業の目的と指標																	
手段(主な活動)					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動)					<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 新規就農研修生</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 助成金交付金額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>					名称	単位	ア 新規就農研修生	人	イ 助成金交付金額	円	ウ	
名称	単位																
ア 新規就農研修生	人																
イ 助成金交付金額	円																
ウ																	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 研修助成金の交付					⇒												
21年度計画(21年度に計画している主な活動)					<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 新規就農希望者数(相談者数)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>					名称	単位	ア 新規就農希望者数(相談者数)	人	イ		ウ	
名称	単位																
ア 新規就農希望者数(相談者数)	人																
イ																	
ウ																	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 研修助成金の交付					⇒												
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等					<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 新規就農希望者数(相談者数)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>					名称	単位	ア 新規就農希望者数(相談者数)	人	イ		ウ	
名称	単位																
ア 新規就農希望者数(相談者数)	人																
イ																	
ウ																	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 新規就農希望者(新規就農相談者)					⇒												
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)					<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定就農者数 / 新規就農希望者数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>					名称	単位	ア 認定就農者数 / 新規就農希望者数	%	イ		ウ	
名称	単位																
ア 認定就農者数 / 新規就農希望者数	%																
イ																	
ウ																	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業技術の習得等により、優れた農業後継者を育成し、新規就農の定着化を図る。					⇒												
結果(どんな結果に結び付けるのか)					<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 新規就農者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>					名称	単位	ア 新規就農者数	人	イ		ウ	
名称	単位																
ア 新規就農者数	人																
イ																	
ウ																	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 新規就農者を育成確保する。					⇒												

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		630	1,395	1,395		
		一般財源	千円	0	630	1,395	1,395		
	事業費計(A)	千円	0	1,260	2,790	2,790			
活動指標		ア 人	0	2	3	3			
		イ 円	0	1,260	2,790	2,790			
		ウ							
対象指標		ア 人	7	9	12	15			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	0	0	17	20			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 人	2	10	4	6			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?									
新規就農者を支援するために、旧横川町の事業を引き継ぎ(平成14年度~)、霧島市単独事業として平成18年度より新たにスタートした。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?									
農業従事者の高齢化・後継者不足により、農業生産の脆弱化が進行している。国の方針において、農業担い手の確保・育成が重要視されている。5年前と比較して、年間の新規就農相談の件数が増加している。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?									
関係機関から「研修助成金については、受入農家との折半であるため、希望する農家への交渉が難しく、受入可能な農家が限定される。」という意見がある。									

事務事業名	農業後継者等育成就農支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	受入農家の増加を図ることで成果向上を図るべき事業である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 市における受入体制の検討(受入農家の増加・農業公社設立等)																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 受入農家は負担増労働力が増加する代わりに負担増となること、併せて年間を通した研修ができるかどうかによって受入農家となれるかが決定されるので、増やすことは困難な状況である。
 新規就農者を育成することを目的とした農業公社設立事業への移行を検討しながら、本事業の展開の結果を見極める。

No.	520-120	事務事業名	生活研究グループ育成事業					所属部	農林水産部
								所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり					課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興					所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進					電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	市補助金交付要綱	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興助成事業(市単独)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
--	------

生活改善グループの会員が農山漁村のよりよい生活や働き方を学び、その知識・経験を活かした地産物の農林水産物の加工品開発活動等に対して補助金を交付し、活動の促進を図る。
 1団体5支部(国分、隼人、福山、霧島、牧園)会員:総数205名
 平成20年度 207千円交付
 平成21年度 187千円交付予定

単年度のみ

単年度繰返
 ↳ (年度 ~)

期間限定複数年度
 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)													
(1) 事務事業の目的と指標													
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>補助対象件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称		単位	ア	補助対象件数	件	イ			ウ		
名称		単位											
ア	補助対象件数	件											
イ													
ウ													
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様	→												
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市生活研究グループ連絡協議会会員 <補助金交付先>霧島市生活研究グループ連絡協議会 <補助対象活動>団体の運営(総会・研修会の開催等)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>霧島市生活研究グループ連絡協議会会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	霧島市生活研究グループ連絡協議会会員数	人	イ			ウ		
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位											
ア	霧島市生活研究グループ連絡協議会会員数	人											
イ													
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 活動(地産地消)の活発化 食に関するイベント事業の開催増	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>現年度会員数/過年度会員数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	現年度会員数/過年度会員数	%	イ			ウ		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位											
ア	現年度会員数/過年度会員数	%											
イ													
ウ													
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心・安全な農林産物を地域に供給する	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア</td> <td>地産物の農林産物を積極的に購入している市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	地産物の農林産物を積極的に購入している市民の割合	%	イ			ウ		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位											
ア	地産物の農林産物を積極的に購入している市民の割合	%											
イ													
ウ													

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
事業費 財源内訳 投入量	国庫支出金	千円				
	都道府県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	336	207	207	187
事業費計(A)		千円	336	207	207	187

活動指標	ア	件	2	1	1	1
対象指標	ア	人	284	218	205	202
成果指標	ア	%		98	94	96
上位成果指標	ア	%	68.2	59.9	74.3	71.0

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 昭和40~50年代に農山漁村に居住する女性を中心に労働条件の改善や生活環境の向上などを目的に組織が設立され、その活動に対し支援を行っている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 設立当初は、会員自身の生活環境向上が主であったが近年は、食農講座等を実施するなど若年層に対して食文化を伝承するボランティア的な役割も担っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

事務事業名	生活研究グループ育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 食伝承講座等のイベントを通じた、食・農産物加工のノウハウ(知識・経験)や加工品の紹介活動を支援することは、地産地消の推進に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 食料自給率の低下やフードマイレージ等の観点から、地産地消の推進は市の課題の一つでもあるため、市が関連事業を展開する団体を支援することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 類似の活動を行う団体は他にはなく対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 地域住民に対する技術や加工品の紹介活動をさらに活発化させることで、地域産の食材への関心や理解が深まる余地はある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ グループの運営に支障をきたすため、市内における地産地消の推進活動に関して影響が及ぶ可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 活動内容には自主的に行うべきものも含まれているため、精査することによる削減余地はある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算執行が主の事業であって、削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市施策との関連もあり生活研究グループへの公的支援は必要であるが公益性を高める意味でも活動の中心を会員だけを対象としたものから地域住民も参加できる内容へシフトしていく必要がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業展開を誘導し成果向上を図れるほか、事業費の見直しを行なう必要がある。住民参加型の食育・地産地消の推進を検討し、組織体への補助事業のあり方を廃止を含めて検討する必要がある。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 事業内容を再度確認し、事業費の縮小を図る。 民間市民団体等への支援シフトを行うことで、本事業の廃止を含め検討を行なう。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象組織の反発が想定される。 生産者団体等を併せて改革対象とし、事業費の明確な事業のみに支援を行うこと目標とし、公平感を持って補助事業の全面的改革対策を実施する。																	

No.	520-540	事務事業名	各種農業関連施設管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 2	農業関連	農業関連施設管理運営事業		
	一般	0 8	1 0	8 5	指定管理	〃		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
施設管理を行う嘱託賃金等の予算(主な事務内容:賃金・消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕費・通信運搬費・保険料等の支払やボイラー点検等の委託契約及び支払)を適正に執行し、市民その他の利用者が使用しやすい施設の管理を行うことで、さらに多くの市民等に利用してもらい、地元の農産物を利用した加工技術の普及を図っている。 直接管理施設 10施設。 国分宮農センター等(4施設)及び丸岡公園(農業交流センター)については指定管理者と管理協定を結ぶ。また、備品等の設置については、状況を把握し随時購入する。(平成22年度) 対象施設:【溝辺宮農センター】(防災アコーデオンカーテン取替、真空包装機、仕込み攪拌機)、【国分宮農研修センター】(蒸気ボイラー入替工事)、【福山婦人の家】(洗瓶機)、【霧島多目的研修センター】(製麹機)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 53 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 予算の執行(賃金・光熱水費・修繕料・委託料等の支払事務) 危険箇所等の確認を行い、適切な修繕した。		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ア 予算執行額	
前年度と同様		千円	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 施設 市民		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 施設数	
		施設	
		イ 市内住民	
		人	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者が不便なく使える施設管理		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 施設の利用者数	
		人	
		イ 施設利用に関する苦情件数	
		件	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心・安全な農林産物を地域に供給する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 学校給食への供給率	
		%	
		イ 地元産の農林産物を積極的に購入している市民の割合	
		%	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	3,753	4,230	4,646	5,014		
		一般財源	千円	28,986	29,691	36,013	31,137		
		事業費計(A)	千円	32,739	33,921	40,659	36,151		
活動指標		ア 千円	32,739	33,921	40,659	36,151			
		イ							
		ウ							
対象指標		ア 施設	15	15	15	15			
		イ 人	127,615	127,773	128,128	128,383			
		ウ							
成果指標		ア 人	25,371	25,789	38,368	38,500			
		イ 件	0	0	0	0			
		ウ							
上位成果指標		ア %	2.2	2.3	2.3	4.0			
		イ %	68.2	59.9	74.3	71.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
地元の農産物を利用した加工食品の開発をすることにより、農業所得の向上を図るため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
施設の利用者が農業関係者だけでなく、一般市民の利用も増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に無し	

事務事業名	各種農業関連施設管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市の施策である「食農教育」の普及にも重要な役割を果たす施設の管理であり、適切な管理運営を行うことは地産地消の推進につながるため政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市の施設の管理であるため、市が管理することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象を施設とし、意図が適切な施設管理であることから、それぞれ妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 施設の維持管理費であるこの事業は、嘱託職員(管理人)の意識改革をすることで、より利用しやすい施設にできるため、現在よりも利用者数が増える余地がある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 行政で策定した食育計画等を実践するにあたり農産物加工施設は必要不可欠である。事務事業を廃止・休止した場合、同様の加工施設は他になく行政施策の推進にも影響が及ぶ可能性は高い。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 施設及び施設内の備品等が老朽化しているに伴い、経費の増加が見込まれるなど経費削減の余地はない。しかし、施設管理人の意識改革を促すことで電気代等の節減を図っていくことは可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行事務であり、削減の余地がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 利用料が統一されていない為、受益者への負担が公平でない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率性は適切な事業である。管理者の意識改革や各施設の施設利用料等の見直し、効率性・不公平是正を図る必要がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善案 各関係機関と連携の下、施設利用率の向上を図ると共に施設利用時の経費削減に努める。使用料改正を行ない、公平性の確保を行う。																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 管理指導者の指導方法で利用者が増え、管理方法改善を行うことで光熱水費等の削減につながるため、管理者の研修会等を行い意識改善を行う。財政主導で使用料改正を現時点では実施しているが、進捗が遅いため調整が行われている状況といえない。しかし、平成21年度中に使用料改定を行い、公平性の確保案を示すことができそうである。																									

No.	520-550	事務事業名	市民農園運営事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 市民農園整備促進法 特定農地貸付に関する農地法の特例に関する法律	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
農業者以外の市民が土とふれあい、農業・食糧に対する理解と興味を深め、さらには親子のコミュニケーションの場、市民のレクリエーションの機会を提供すること、地元で生産された安心・安全な食材への関心を深めていただくことを目的とし、現在、市内6カ所に市民農園を設置している。 具体的な手順としては、土地所有者から年間20,000円/107-ルで農地を借上げ、1区画約25㎡の区画を作り、貸付を希望する市民へ無料で貸し出している。貸し出し期間は2年間とし、以降2年ごとに更新手続きを行い、貸し出しの申し込みは農政畜産課窓口で受け付けている。 職員の事務としては、利用申込み受付・貸出事務及び空き区画等の整備である。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 57 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 6農園について、賃貸借契約を締結し、利用希望のある市民へ農園を貸し出しを行い、農地利用者に対し栽培講習会を開催し技術向上を図った。空き区画は、病害虫の発生要因とならないように雑草の処理等を行った。		ア	利用者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様		イ	整地面積
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市民で農園利用を希望する農業者以外の者		ウ	講習会開催数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業に対する理解を深め、自家消費用野菜を生産することで地産地消の意識を高める。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心・安全な農林水産物を地域に供給する。		ア	市民
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	安心・安全な食材への意識が向上した者/利用者数
		イ	利用区画数/整備区画数
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	地元産の農林産物を積極的に購入している市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	71	71	71	71		
		事業費計(A)	千円	71	71	71	71		
活動指標	ア	人	119	120	120	120			
	イ	㎡	895	850	850	850			
	ウ	回	0	2	2	2			
対象指標	ア	人	127,615	127,280	128,128	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	-	68.6	69.5	70.0			
	イ	%	82.9	84.6	87.0	87.5			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	68.2	59.9	74.3	71.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
「農業者以外でも気軽に利用できる農園を開設してほしい。」との市民の要望があり、旧国分市において昭和57年頃から市民農園を開設している。当初2農園を開設していたが、利用希望が多かったため、徐々に開園数を増やして、現在の6農園の開設に至っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
開設当初に比べて、特定農地貸付事業や市民農園整備促進法が制定されたことで、市町村の農園整備体制が整い、全国的に多くの市民農園が開設されている。霧島市においては、開設しているほとんどの農園が利用状況が高くなっており、新たな農園の開設も検討する必要がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
利用希望者も多く、継続希望や区画の増を希望する市民もいる。	

事務事業名	市民農園運営事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 高齢者や農業者以外の方が、自家消費用野菜を生産することで、農業への理解と地産地消の意識が高まり、安心・安全な地元産の農産物の供給に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 本市においては、民間での農園開設がないため、市が実施するのが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 農業者以外の全ての市民を対象としているので、対象は妥当。農業者以外の方の農業への理解促進を目的とし、法の趣旨と合致しているため、意図は妥当。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 栽培講習会や品評会などの開催により、利用者の栽培技術の向上や交流の場を提供することにより、成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 都市部においては、農地が少なく、高齢者や農業者以外の方が気軽に土や自然に親しむ機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市民農園がほかにない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は借地料(必要最低限)のみであり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算執行及び規則等で決められた作業を実施するのみであるため削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 国分地区限定の開設となっているため不公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的妥当性や有効性から、本事務事業は継続していく必要があるが、事業効果を増大させるために「おじゃんせ霧島移住定住推進室」と連携し、宿泊型の体験農園や一坪農園の検討を進める必要がある。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 宿泊型の体験農園や一坪農園の開設を検討。利用率の低い農園の改善又は、廃園。利用希望の多い集人地区へも農園を開設。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 宿泊型の農園開設には、宿泊施設の整備や農園の設備(水道や農機具)を整える必要があり、投資が必要となるために費用対効果を考えながら開設の検討を進めていく必要がある。 新たに集人地区に農園を開設した場合、農園の管理に要する職員の時間が増え、新規開設のために農地の借り上げが必要となる。 利用率が悪い農園については、農園の利用を希望する方が存在しており廃園は難しいため、利用率を上げるよう周知を行う必要がある。																			

No.	630-010	事務事業名	市国分物産館じょうもん市場管理運営事業	所属部	商工観光部
				所属課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課長名	横手 航太郎
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	特産品G
	基本事業名	0 5	地産地消の推進	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	0	7	0	1	0	5	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
平成17年に本市の農産物の情報の発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市国分物産館じょうもん市場の運営管理を国分農林水産物等販売協議会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っておらず、販売協議会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設のレジ使用料のみであり、同額を歳入で販売協議会から受け入れている。 (1) 開館時間 午前9時から午後6時まで (2) 休館日 1月1日から1月5日までの日		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 来館者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 国分物産館じょうもん市場	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心・安全な農林水産物を地域に供給する。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 国分物産館じょうもん市場会員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 年間売上額	円
		イ 出品者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学校給食への供給率	%
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,166	1,216	1,166	1,180		
		事業費計(A)	千円	1,166	1,216	1,166	1,180		
活動指標	ア 日		361	362	361	361			
	イ 人		205,483	204,723	204,823	204,923			
	ウ								
対象指標	ア 人		127,615	127,773	128,374	128,975			
	イ 人		153	160	171	182			
	ウ								
成果指標	ア 円		153,913,730	220,829,271	229,357,383	231,000,000			
	イ 人		153	160	171	182			
	ウ								
上位成果指標	ア %		未把握	3.2	3.6	4.0			
	イ %		未把握	68.2	69.5	71.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
平成17年に本市の農産物の情報の発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に応分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市国分物産館じょうもん市場管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	物産館の指定管理者である国分物産館じょうもん市場に霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営を委託し運営することは、来訪者に安心・安全な農林産物を供給することに繋がりが結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、消費者の求める、安心・安全・新鮮な食材供給のための地産地消の推進を図る必要があるので妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、物産館を訪れる市民と物産館を運営する国分物産館じょうもん市場で妥当である。意図は、物産館を運営し、地元特産品を販売することは、安心・安全な地元農産物を供給することに繋がりが妥当である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	商品が売り切れていることも多いので、出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をし、安心安全な地元の農産品を安定的に供給できる環境を整えれば、売上げも増え成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新鮮で安心・安全な地元産品を手軽に購入できなくなり、消費者へは多大な影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島市国分物産館じょうもん市場管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	各物産館とも、指定管理者が異なり、それぞれ地元特産品を出品しており統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	物産館は独立採算が基本であり、事業費そのものがない。市は修繕料のみを負担しているが、早めの点検補修を行えば修繕料も抑えることができる。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	修繕料の支払にかかる事務は最低限のものであり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	行政財産であるので、唯一の支出である修繕費に関しても、妥当性がある。市民が誰でも利用できる物産館なので受益者はすべての市民であり、偏りはあり得ない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																											

No.	630-020	事務事業名	市溝辺町特産品販売所よこでー管理運営事業				所 属 部	商工観光部
							所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所 属 G (係)	特産品G
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	霧島市溝辺物産館の設置及び管理に関する条例及び同施行規則	
	一般	0 7	0 1	0 5	104010	物産館管理事業		
法令根拠								霧島市溝辺物産館の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
平成9年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市溝辺町特産品販売所よこでーの運営管理を溝辺町特産品協会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っておらず、特産品協会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設の修繕料、保険料、電灯代。 (1) 開館時間 午前9時30分から午後6時まで (2) 休館日 1月1日から1月3日までの日							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 9 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 営業日数	
		日	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 来館者数	
前年度と同様		人	
ウ			
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
溝辺町特産品協会		単位	
		ア 人口	
		人	
		イ 溝辺町特産品協会会員数	
		人	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
安心して地元特産品を購入できる。		名称	
地元特産品を供給できる。		単位	
		ア 年間売上額	
		円	
		イ 出品者数	
		人	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
安心・安全な農林水産物を地域に供給する。		名称	
		単位	
		ア 学校給食への供給率	
		%	
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	
		%	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	57	57	52	357		
		事業費計(A)	千円	57	57	52	357		
活動指標	ア	日	361	362	361	361			
	イ	人	205,483	204,723	204,823	204,923			
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	128,374	128,975			
	イ	人	98	105	110	115			
	ウ								
成果指標	ア	円	167,097,376	176,078,646	192,572,076	209,065,506			
	イ	人	98	105	110	115			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	3.2	3.6	4.0			
	イ	%	未把握	68.2	69.5	71.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
平成9年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に込分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市溝辺町特産品販売所よこでーる管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市福山ふくふれあい館管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																														

No.	630-030	事務事業名	市横川特産品直売所・食材供給施設管理運営事業	所 属 部	商工観光部
				所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	特産品グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の設置及び管理に関する条例及び同施行規則	
	一般	0	7	0	1	0	5		104010

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営管理を横川町産産品販売協議会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っており、特産品協会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設の修繕料のみ。 (1) 開館時間 4月1日から10月31日まで 午前8時30分から午後6時まで、11月1日から翌年の3月31日まで 午前9時から午後5時30分まで (2) 休館日 12月31日から翌年の1月3日までの日		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 12 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 来館者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 横川町特産品販売協議会	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心・安全な農林水産物を地域に供給する。	ア 人口	人
		イ 横川町特産品販売協議会会員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 年間売上額	円
		イ 出品者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 学校給食への供給率	%
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	53	168	374	354		
事業費計(A)		千円	53	168	374	354			
活動指標		ア 日	361	362	361				
		イ 人	205,483	204,723	207,263	204,923			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,374	128,975			
		イ 人	153	160	168	176			
		ウ							
成果指標		ア 円	219,923,826	213,431,000	206,980,000	207,300,000			
		イ 人	153	160	168	176			
		ウ							
上位成果指標		ア %	未把握	3.2	3.6	4.0			
		イ %	未把握	68.2	69.5	71.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に応分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市横川特産品直売所・食材供給施設管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	物産館の指定管理者である横川町特産品販売協議会に霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営を委託し運営することは、来訪者に安心・安全な農林産物を供給することに繋がり結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、消費者の求める、安心・安全・新鮮な食材供給のための地産地消の推進を図る必要があるので妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、物産館を訪れる市民と物産館を運営する横川町特産品販売協議会で妥当である。意図は、物産館を運営し、地元特産品を販売することは、安心・安全な地元農産物を供給することに繋がり妥当である。																													
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	商品が売り切れていることも多いので、出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をし、安心安全な地元の農産物を安定的に供給できる環境を整えれば、売上げも増え成果の向上余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新鮮で安心・安全な地元産品を手軽に購入できなくなり、消費者へは多大な影響がある。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市福山ふくふれあい館管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																													
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	物産館は独立採算が基本であり、事業費そのものがない。市は修繕料のみを負担しているが、早めの点検補修を行えば修繕料も抑えることができる。																													
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	修繕料の支払にかかる事務は最低限のものであり、人件費の削減余地はない。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	行政財産であるので、唯一の支出である修繕費に関しても、妥当性がある。市民が誰でも利用できる物産館なので受益者はすべての市民であり、偏りはあり得ない。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 出品者(会員)の拡大 新規就農の推進 施設の点検・補修をこまめに行う。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																															

No.	630-040	事務事業名	市福山町ふくふくふれあい館管理運営事業				所属部	商工観光部	
							所属課	観光課	
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎	
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	特産品G	
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	0	7	0	1	0	5	104010 物産館管理事業	霧島市福山ふくふくふれあい館の設置及び管理に関する条例及び霧島市福山ふくふくふれあい館の管理運営に関する規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市福山町ふくふくふれあい館の運営管理を福山町ふくふくふれあい館運営協議会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っており、特産品協会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設の修繕料と保険料のみ。 (1) 開館時間 2月1日から10月31日まで 午前9時から午後6時まで、11月1日から翌年の3月31日まで 午前9時から午後5時30分まで (2) 休館日 12月31日から翌年の1月3日までの日		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 12年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 来館者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民 福山町ふくふくふれあい館運営協議会	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心・安全な農林水産物を地域に供給する。	ア 人口	人
		イ 福山町特産品販売協議会会員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 年間売上額	円
		イ 出品者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 学校給食への供給率	%
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	22	22	22	322		
		事業費計(A)	千円	22	22	22	322		
活動指標		ア 日	361	362	361	361			
		イ 人	205,483	204,723	204,823	204,923			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,374	128,975			
		イ 人	153	160	165	170			
		ウ							
成果指標		ア 円	219,923,826	18,056,658	20,020,456	20,100,000			
		イ 人	153	160	165	170			
		ウ							
上位成果指標		ア %	未把握	3.2	3.6	4.0			
		イ %	未把握	68.2	69.5	71.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に応分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市福山町ふくふくふれあい館管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	物産館の指定管理者である福山町ふくふくふれあい館運営協議会に霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営を委託し運営することは、来訪者に安心・安全な農林産物を供給することに繋がりが結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、消費者の求める、安心・安全・新鮮な食材供給のための地産地消の推進を図る必要があるので妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、物産館を訪れる市民と物産館を運営する福山町ふくふくふれあい館運営協議会で妥当である。意図は、物産館を運営し、地元特産品を販売することは、安心・安全な地元農産物を供給することに繋がりが妥当である。																													
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	商品が売り切れていることも多いので、出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をし、安心安全な地元の農産品を安定的に供給できる環境を整えれば、売上げも増え成果の向上余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新鮮で安心・安全な地元産品を手軽に購入できなくなり、消費者へは多大な影響がある。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市福山ふくふくふれあい館管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																													
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	物産館は独立採算が基本であり、事業費そのものがない。市は修繕料のみを負担しているが、早めの点検補修を行えば修繕料も抑えることができる。																													
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	修繕料の支払にかかる事務は最低限のものであり、人件費の削減余地はない。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	行政財産であるので、唯一の支出である修繕費に関しても、妥当性がある。市民が誰でも利用できる物産館なので受益者はすべての市民であり、偏りはあり得ない。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 出品者(会員)の拡大 新規就農の推進 施設の点検・補修をこまめに行う。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																															

No.	520-590	事務事業名	稼原大茶樹維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 6	ブランド化の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
昭和12年に国の天然記念物に指定された大茶樹が過去にあり、その枝から植栽された二代目大茶樹を財産として、霧島市が管理している。 関係団体の協力をもらいながら「霧島茶」としてのPRするものである。 [内容]大茶樹周辺の市有地についてシルバー人材センターへ除草作業等を委託する。 [茶樹の活用状況]茶摘、霧島神宮への茶奉納 [土地の活用状況] 亀馬ハネムーンウォーク時点での茶接待及び茶販売所に使用している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (不明 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
・除草作業 5回 ・大茶樹の茶摘み・秋祭りの実施 2回 ・霧島神宮への茶奉納 1回		ア 除草作業	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 茶摘採及び奉納	回
前年同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等大茶樹		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 茶樹	本
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
除草作業を行いPRに活用できるようにする。		名称	
		単位	
		ア 大茶樹宣伝活動回数	回
		イ 除草作業回数	回
		ウ 来場者数	人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
競争力を強化する。		名称	
		単位	
		ア 荒茶生産量	t
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	50	50	50	50		
		事業費計(A)	千円	50	50	50	50		
活動指標	ア	回	5	5	5	5			
	イ	回	1	1	1				
	ウ								
対象指標	ア	本	2	2	2	2			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	回	2	5	3	5			
	イ	回	5	5	5	5			
	ウ	人	300	350	450	600			
上位成果指標	ア	t	1,580	1,758	1,763	1,624			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和12年に国の天然記念物に指定された大茶樹が牧園地区に当時あり、その枝から植栽された二代目大茶樹は昭和30年代から旧牧園町で、現在は霧島市の財産として管理している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成18年度から霧島茶銘柄確立を図るため大茶樹茶摘みイベントを開催し県内を始め全国に向けてPRを進めており年々報道関係者も関心が高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
イベント・宣伝の強化がされ注目されており観光客も来場することから、大茶樹保存会会員等からは誘導看板及びアクセス道路の整備について要望が寄せられている。	

事務事業名	稼原大茶樹維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島産茶のPRに活用されることによって、競争力の強化され政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市有財産を管理し、霧島茶のPRにも活用されることから妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は大茶樹であり、意図がPRに活用できることとしているので、適切な設定である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 他のイベント等とのタイアップができれば、宣伝回数等を増加させることができる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市の財産管理上、宣伝活動を行う上でも廃止・休止できない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似の手段が無い <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 管理費については除草等維持管理に必要な最小限の金額である。除草以外の管理については、大茶樹保存会などのボランティアの協力により管理しているためこれ以上の削減の余地は無い。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 委託事業の現場確認、予算執行業務のみであるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 施設については市民等が使える環境にあって、市有の施設を維持管理することについては不公平は生じない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率・公平性は適切な事業である、また有効性については和気神社のふじ祭り等とリンクした公開や日常的に利用できる公園も要検討。全国お茶まつり視察コースのメインとして位置付け、PRを図る必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 他のイベントなどに合わせ、PR活動を行うよう事業調整を行う。																						
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 イベント時期を修正することについては、茶の収穫時期等と関係があるため、調整できない可能性がある。
 茶摘採以外で使用することは可能である。

No.	520-600	事務事業名	全国茶品評会出品支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 6	ブランド化の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
全国茶品評会への出品に対する補助事業である。 出品実績に応じ1点当りの定額を補助(煎茶30kgの部:80,000円 その他の部:30,000円)する。 宇治や知覧・八女・静岡等の産地は、毎年開催される全国茶品評会の各部門で第1位を数多く獲得しており、そのため茶関係者はもとより多くの消費者へ一流産地であることが認識されているので、知名度向上のため霧島市茶業振興会会員は採算を考慮せず出品茶を製造しており、市はその取組みを行う振興会会員の出品茶製造経費の一部を補助することで支援し、霧島茶のブランド化を図っていく。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 19 年度 ~ H 23 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
全国茶品評会への出品点数 15件		ア	全国茶品評会への出品点数
			点
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
全国茶品評会への出品点数 21件		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市茶業振興会会員		名称	
		単位	
		ア	霧島市茶業振興会会員
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
良質茶を出品させる。		名称	
		単位	
		ア	全国茶品評会入賞点数
			点
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
競争力を強化する。		名称	
		単位	
		ア	荒茶生産量
			t

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		710	850	1,693		
	事業費計(A)	千円	0	710	850	1,693			
活動指標		ア	点	12	15	21			
対象指標		ア	人	221	221	221			
成果指標		ア	点	8	7	10			
上位成果指標		ア	t	1,580	1,758	1,763	1,624		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
宇治や知覧・八女・静岡等の産地は、毎年開催される全国茶品評会の各部門で第1位を数多く獲得しており、そのため茶関係者はもとより多くの消費者へ一流産地であることが認識されているので、霧島茶の知名度向上及びブランド化のため平成19年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
ペットボトル茶の消費については、順調に推移しているものの主たるリーフ茶の消費量が全国的に低迷している。銘柄確立に向けて霧島市茶業振興会が設立され、全体的な事業として各支部会員理解のもとで全国茶まつりへの取り組みを開始した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	全国茶品評会出品支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島茶をブランド化するための取り組みであり、政策体系に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 農産物のブランド化は市長マニフェストにも盛り込まれており、全国茶品評会で上位入賞を果たすことが霧島茶のブランド化が図られるため市が支援することは妥当と考える。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 霧島市の茶生産者全員が茶業振興会員あることから、対象は妥当である。また、ブランド化のためには技術力のある茶生産者が増える必要があることから意図も妥当。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上の成果向上余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 出品点数を多くすることでその産地の評価が上がり上位入賞も可能になる。休止した場合、生産農家の負担が増え出品点数が減少し上位入賞が困難となり、霧島茶のブランド化は図れなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似の施策がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 出品点数が減少すると上位入賞は難しくなり霧島茶のブランド化は図れなくなる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行等の事務のみであって、削減の余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 出品者は市茶業振興会会員であり受益機会は公平といえる。出品者も経費を負担しており、他の補助金とも公平性が保たれる。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-610	事務事業名	単独茶防霜施設整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 6	ブランド化の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般	0 6	0 1	0 3	82025	事業名	農業振興費
							法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
国庫・県補助事業で整備出来ないほ場を市単独で整備し作業の効率化や凍害被害軽減を図り良質茶づくりを推進し所得向上を図る。 【補助実施対象】防霜ファンの設置 【補助交付対象者】霧島市茶業振興会員 【補助要件】国庫・県補助事業に該当しないほ場であって、霧島市茶業振興会委員が耕作している市外のほ場を含む。 【補助率】補助率1/3以内							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 20 年度 ~ H 23 年度)	

1 現状把握の部(DO)															
(1) 事務事業の目的と指標															
手段(主な活動)				活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市内防霜施設未設置ほ場、調査の実施 未設置申請面積22.6ha 実施面積2.2ha				<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 補助交付団体</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ 補助対象防霜ファン設置数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>				名称	単位	ア 補助交付団体	団体	イ 補助対象防霜ファン設置数	台	ウ	
名称	単位														
ア 補助交付団体	団体														
イ 補助対象防霜ファン設置数	台														
ウ															
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様															
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 茶農家 【交付対象】茶農家 【対象事業】防霜ファン等の施設整備				<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 導入地区全体の茶栽培面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>				名称	単位	ア 導入地区全体の茶栽培面積	ha	イ		ウ	
名称	単位														
ア 導入地区全体の茶栽培面積	ha														
イ															
ウ															
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 防霜ファンの設置による凍害被害軽減で良質茶づくりを図る。				<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 現年度栽培面積/過年度栽培面積</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 防霜ファン整備率(設置面積/栽培総面積)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>				名称	単位	ア 現年度栽培面積/過年度栽培面積	%	イ 防霜ファン整備率(設置面積/栽培総面積)	%	ウ	
名称	単位														
ア 現年度栽培面積/過年度栽培面積	%														
イ 防霜ファン整備率(設置面積/栽培総面積)	%														
ウ															
結果(どんな結果に結び付けるのか) 競争力を強化する。				<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 荒茶生産量</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>				名称	単位	ア 荒茶生産量	t	イ		ウ	
名称	単位														
ア 荒茶生産量	t														
イ															
ウ															

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	0	0	3,836	10,000			
	事業費計(A)	千円	0	0	3,836	10,000			
活動指標	ア	団体			6	10			
	イ	台			40	100			
	ウ								
対象指標	ア	ha	464	473	480	490			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%			80	83			
	イ	%			70	75			
	ウ								
上位成果指標	ア	t	1,580	1,758	1,763	1,624			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等							
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?							
平成20年度から面積拡大をする茶農家が増加している反面、土地の集団化が困難な場合が多いため、国庫・県単で実施できないほ場を整備に茶生産者の所得所得向上を図るため開始した。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?							
茶生産者は、茶の取引単価が下落していることから規模拡大を図り安定経営を目指し、また、市は霧島ブランド確立のために霧島茶のブランド化を図ろうとしている。併せて、全国茶まつりの誘致に成功したため、茶生産者の技術向上や品質向上の施策を検討している状況にある。							
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							
生産者は、市が行う国庫の事業に該当しない部分の支援を喜んでいる。							

事務事業名	単独茶防霜施設整備事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 高品質の茶づくりは農産品のブランド化に結びつき競争力が強化されるため政策体系に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 国県の補助事業等の趣旨を踏まえ、高品質の茶づくりのための環境を整えることは公共で推進する必要があると判断され妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 茶業農家(=茶業振興会会委員)は市内住民のみであることから対象は妥当。意図は国県事業の趣旨から妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的及び成果を上げる以上に向上の余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 整備率を現在確認中であるが、比較的整備率が上昇していないことから事業推進をすることとする。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ かがしま茶産地拡大チャレンジ事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 国県事業の対象要件とならない施設整備を対照している事業であるため連携できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業採択時点で事業計画に対し導入機械の性能・台数等が過大となっていないか市で精査するため事業費については削減の余地がない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行等の事務のみであって、削減の余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市の交付要件を満たせば基本的に実施は可能であることから受益機会に偏りは無いので公平である。費用負担についても、事業主体の応分負担があるため公正さも保たれている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

事務事業名	グリーンツーリズム総合推進事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ グリーンツーリズムは市長のマニフェストにも盛り込まれており、観光客の誘致、定住促進、新規就農等の分野に影響を与える事業である。グリーンツーリズムに取り組む農家を育成することによって、農業体験受入農家数等が増加し、観光資源として利用してもらうことで本市の観光、農林水産業の活性化が図られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 関係機関等が連携しグリーンツーリズムを推進していくことが必要であり、現段階では受入農家の育成に公共関与は必要である。しかし、民間が主体となり活動を行っていく必要があるため将来的には段階的に公共関与を減らしていくことが望ましい。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を農家とし、意図を受入農家数の増加としているため変更を要さず妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 行政主体のグリーンツーリズム推進を、協議会を中心とした民間主体に移行することで、活発な活動が行われることにより、新たな受入農家の確保や受入態勢の整備、そしてグリーンツーリズムの定着が図られる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 現段階では行政が中心となり、グリーンツーリズムの推進を行っているところでは否めず、活動が活発化していないこと示している。よって事務事業を廃止した場合でも事業の成果は上がらないが下がりにくい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ 霧島高原自然体験ツーリズム協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 観光サイドで行っている霧島高原自然体験ツーリズム協議会と連携し、将来的には統合を目指すことで、本市の特性を活かした推進体制の確立を目指す必要がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 20年度には削減がなされた。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 協議会を中心に市内全域を対象とした活動を行っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	類似事業との統合を行い効率化を図る必要がある																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 統合を目指す為に観光サイドとの連携を密にし、事業統合に向け活動を進める。																							